

提出議題

議決事項

第一号議案	令和3年度	決算報告（案）及び監査報告	別冊
第二号議案	令和4年度	改選役員及び推薦委員の選出	10
第三号議案	令和5年度	日本看護協会代議員及び予備代議員の選出	11

報告事項

報告事項1	令和3年度	事業報告	12
報告事項2	令和4年度	事業計画	77
報告事項3	令和4年度	収支予算書	別冊

第一号議案 令和3年度 決算報告（案）及び監査報告

（別 冊）

第二号議案 令和4年度 改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和4年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	西生 敏代	1	山口県看護協会	保健師
第一副会長	折込 沙世	2	小郡第一総合病院	看護師
第三副会長	小西 恵	2	山口県済生会豊浦病院	助産師
理 事	塩道 敦子	2	山口大学医学部附属病院	助産師
	池田 早苗	2	山口赤十字病院	看護師
	東 由利子	2	宇部記念病院	看護師
	山本 美紀	2	徳山医師会病院	看護師
	口羽 理恵	2	山口リハビリテーション病院	看護師
	牟田 薫	2	山口県立こころの医療センター	看護師
	土井 直子	2	小野田赤十字病院	看護師
	田中 好江	2	萩市地域包括支援センター	保健師
	小山 亜弥	2	よしみず病院	看護師
監 事	軍神 弘美	2	安岡病院	看護師

○令和4年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	橋本 佳子	1	山口健康福祉センター	保健師
	村上 京子	1	岩国市周東保健センター	保健師
	田村 知美	1	山口県済生会豊浦病院	助産師
	又賀 明子	1	下関市立市民病院	助産師
	山時久美子	1	緑町三祐病院	看護師
	村橋久美子	1	岩国市医療センター医師会病院	看護師
	笹尾 千春	1	山陽小野田市民病院	看護師

第三号議案 令和5年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款及び定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、予備代議員は、代議員が欠けた場合、代議員の員数を欠くことになる場合、これに充てることとし、代議員は、令和5年度日本看護協会総会で議決権を行使する。

○令和5年度 日本看護協会代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	折込 沙世	看護師	小郡第一総合病院
2	小西 恵	助産師	山口県済生会豊浦病院
3	鈴川 実紀	准看護師	安岡病院
4	山本 美紀	看護師	徳山医師会病院
5	口羽 理恵	看護師	山口リハビリテーション病院
6	牟田 薫	看護師	山口県立こころの医療センター
7	土井 直子	看護師	小野田赤十字病院
8	田中 好江	保健師	萩市地域包括支援センター
9	小山 亜弥	看護師	よしみず病院
10	軍神 弘美	看護師	安岡病院

○令和5年度 日本看護協会予備代議員候補者

No.	氏名	職種	所属
1	有田 稔子	保健師	山口市防災危機管理課
2	酒井 恵子	保健師	山口県看護協会
3	藤谷 圭子	助産師	山口県看護協会
4	小阪マリ子	看護師	徳山中央病院
5	門脇 幹	准看護師	宇部リハビリテーション病院
6	白銀 優子	看護師	岩国中央病院
7	大東 美恵	看護師	国立病院機構柳井医療センター
8	達川 明美	看護師	老人保健施設防府幸楽苑
9	石井 恵子	看護師	岡田病院
10	高橋 和子	看護師	山口県立総合医療センター

報告事項 1 令和3年度 事業報告

○令和3年度重点方針4項目の概要

I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

今年度から、子ども、子育て世代、障がい者、高齢者など全世代を対象として、地域における看護力の強化と連携に取り組むこととした。

在宅ケア推進委員会を中心に、地域での看護職の連携上の課題を抽出し検討を行った。

また、情報提供や意見交換を目的とした三職能四委員会及び各支部の在宅療養支援のための看護連携推進研修検討会の委員長との会議の開催に向けて計画をしたが、コロナ禍で日程調整がつかず、次年度に持ち越すこととなった。

在宅療養支援のための看護連携推進研修の事業は、全支部で取組みを進め（調整困難な支部も一部あり）、圏域ごとの課題に即した検討会や研修会（オンライン・DVD・集合）が開催された。多職種での研修会や、各領域の看護管理者の検討会を行うなど、活動内容も広がりを見せている。

II 看護職の就業と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在があること、コロナ禍において看護職の需要がさらに高まっていることなどから、看護職の確保は継続した課題である。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」に加え「新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業」を受託し、潜在看護師の積極的な掘り起こし、技術演習、就業支援に重点的に取り組んだ。それにより、ワクチン接種業務をはじめ、軽症者宿泊療養施設、保健所支援業務など多くの潜在看護職を就業に繋げることができた。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で様々なストレスを抱え込む看護職支援のため「看護職員メンタルサポート事業」を受託し、公認心理師による個別相談や院内研修会を実施するなど、離職防止を図った。さらに働き続けられる職場づくりの啓発・支援として「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）研修会」を開催した。

「セカンドキャリア人材登録制度」については、令和4年度から「きらめきナース」として本格的に人材活用事業を進めるため、実施要項等を整備した。

III 看護の質の向上とキャリア形成の促進

本協会では、「看護職が看護専門職として、主体的に知識・技術・態度を習得し、看護実践能力の向上を図り、多様化する社会のヘルスニーズに柔軟に対応できるよう支援する」ことを教育目的に掲げ教育研修を実施している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止や延期にした研修もあったが、長期研修や受講希望者の多い研修等についてはオンライン研修の体制を整備し対応した。

看護業務の質の向上に関する事業として、看護制度委員会を中心に、看護基礎教育4年制化を推進するため、日本看護協会と連携し「看護基礎教育を考える会」を開催した。また、准看護師養成所の教員を対象に、学生の進学に影響を及ぼす要因を明らかにするため、アンケート調査を実施した。

IV 組織力の強化

組織力の強化のための会員数増加に向けて検討した結果、令和3年度は、本協会ホームページのリニューアルによりPR力の強化やICT環境の整備により会員の利便性を図る対策に取り組むこととした。主に、理事会よりの委任事項として常務理事会において検討を行った。ホームページやICT環境整備によるオンライン研修等の実施に関しては、会員へのアンケート等も行い、一定の方向性が見出せたが、ホームページなどのシステム改修については財政面も含め総合的に検討する必要性があることから、次年度以降も継続的な検討を行うこととなった。

看護協会入会促進としては、看護学校へ積極的に訪問を行うとともに、看護学校卒業生に記念品と協会案内を送付するなど、新規会員の増加を目指す活動を行った。

事業報告は、定款第4条の8つの事業に沿って掲載

- 1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
- 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
- 4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
- 6 施設の貸与に関する事業
- 7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- 8 その他本会の目標を達成するために必要な事業

※新型コロナウイルス感染拡大への対策として、計画をしていた研修会等で中止となったものについては、主な事業内容に中止と記載した。

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 23研修23日(11研修中止) 受講者総数 1313人
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間 (R3.10.5～ R3.11.25) 修了者 77人 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 (R3.4.23～ R3.9.18) 修了者 35人 ③フォローアップ研修(セカンドレベル・サードレベル) サードレベル R3.7.3 参加者 14人 セカンドレベル R4.3.9 参加者 17人
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 第1回 R3.5.12 出席者 9人 第2回 R3.12.7 出席者 11人 ②研修責任者研修 受講者 13人 4日間 (R3.9.11、9.25、10.5、10.6) ③教育担当者研修 受講者 31人 5日間 (R3.9.11、9.23、10.18、10.19、10.30) ④実地指導者研修 受講者 54人 5日間 (R3.7.29、8.21、8.22、8.28、9.21)
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 新人助産師受講者：16人 (R3.7.10、8.7、11.27、12.4、R4.3.19、3.26) ②助産実践能力向上研修 4回 第1回 R3.11.13 受講者 25人 第2回 R3.12.11 受講者 15人 第3回 R3.12.11 受講者 19人 第4回 R4.3.26 受講者 22人

事業項目	主な事業内容
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 第1回 R3.5.13 出席者 12人 第2回 R3.12.11 出席者 7人 ②実習指導者養成講習会 35日間 (R3.8.18～ R3.10.19) 受講者26人 ③実習指導者と看護教員の相互研修 R3.8.9 受講者 36人 R3.8.12 受講者 27人 ④実習指導アドバイザー派遣 3回 (R3.9.30、11.11、12.7)
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会2回 打合せ会 1回 第1回検討会 R3.6.4(中止) 第2回検討会・打合せ会 R3.10.19 第3回検討会 R4.1.28 ②研修の実施 1回(3日間) 前期 中止 後期 R3.11.20、11.26、12.3(3日間) 受講者：42人(修了証発行42人)
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 4回 R3.9.5、9.6(2日間) 受講者：47人(修了証発行 40人) R3.9.12、9.13(2日間) 受講者：48人(修了証発行 47人) R4.1.14、1.15(2日間) 受講者：42人(修了証発行 39人) R4.1.21、1.22(2日間) 受講者：39人(修了証発行 38人) 研修ファシリテータ(認知症看護認定看護師 各1名ずつ 計4名) ②災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～ 1回
(8)その他研修	①重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 1回 ②看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 ③JNA研修ラダーの普及・推進に向けたクリニカルラダー研修(JNAオンデマンド活用) R3.11.26 受講者：22人
(9)委員会	①教育委員会 8回 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回 (R3.6.10、8.3、10.13、R4.2.1)
(10)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会教育担当者会議 2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修 ①医療安全管理者養成研修(7日間45時間の研修) 7日 (R3.8.20～ R3.11.13) 受講者57人 修了者57人 医療安全管理者養成研修フォローアップ R4.3.11 受講者：34人 ②医療安全管理者スキルアップ研修 R4.3.11 受講者：36人 (2)医療安全推進事業 ①医療看護安全啓発 医療安全情報きらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供

事業項目	主な事業内容
(3)医療安全管理体制の構築・充実	<p>「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進</p> <p>①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。圏域代表との意見、情報交換 1回 R3.8.6</p> <p>②医療安全管理者情報交換会の開催 1回 R3.12.10 受講者：25人</p>
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	<p>①看護職賠償責任保険制度のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習者への加入促進 <p>②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進</p>
(5)委員会	<p>①医療安全推進委員会 7回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議</p>
3)学会等学術集会に関する事業 (1)山口県看護研究学会開催	<p>①第21回山口県看護研究学会 R4.3.5 テーマ：「一人ひとりの力でつなぐ看護の追究」 対面による口演発表 11題 一般参加者 会員 27人</p>
(2)委員会	<p>①学会委員会 6回 R3.4.10、7.24、10.30、12.11、R4.2.21、3.5</p>
(3)日本看護協会との連携	<p>①日本看護協会及び都道府県看護協会に抄録集の送付</p>
4)図書室運営に関する事業 (1)図書の閲覧・貸出	<p>①蔵書管理 書籍購入 定期購読雑誌・学会誌(22タイトル) 207冊 書籍 103冊</p> <p>②図書貸出 書籍・ビデオDVD貸出 349件</p> <p>③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 医学中央雑誌へ文献複写依頼 16件 山口県看護研究学会論文集・集録集・抄録集の文献複写依頼 2件 本協会図書室所蔵資料の文献複写依頼 2件</p> <p>④図書室利用者：346人 岩国：25人 柳井：11人 周南：81人 防府：21人 山口：55人 宇部：45人 小野田：25人 長門：6人 萩：5人 下関：39人 会員外(非会員・学生)：33人</p>
(2)日本看護協会との連携	<p>①譲渡図書の受入 雑誌15冊</p> <p>②最新看護索引Web機関版の利用</p>

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容																												
1) ナースセンター事業 (1) ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	ナースセンター運営協議会 (書面会議) 出席者11人																												
(2) 無料職業紹介 (山口県委託)	<p>① 第6次NCCS (ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求人・求職相談件数 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1,058</td> <td>5,977</td> <td>7,035</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求人・求職・就業者 <table border="1"> <tr> <th>求人</th> <th>求職者</th> <th>就職者</th> <th>就職率</th> <th>求人倍率</th> </tr> <tr> <td>4,196</td> <td>3,481</td> <td>283</td> <td>8.1%</td> <td>1.21%</td> </tr> </table> <p>② ナースセンター・ハローワーク連携事業 連携事業連絡調整会議 第1回 R3.7.13 出席者12人 第2回 R4.3.17 出席者10人</p> <p>③ 広報 ナースセンターだよりの発行、山口県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報等</p>	求人	求職者	合計	1,058	5,977	7,035	求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率	4,196	3,481	283	8.1%	1.21%												
求人	求職者	合計																											
1,058	5,977	7,035																											
求人	求職者	就職者	就職率	求人倍率																									
4,196	3,481	283	8.1%	1.21%																									
(3) 再チャレンジ研修 (山口県委託)	<p>① 再就業支援研修(病院・訪問看護ステーションにおける研修) 開催時期 R3.5～R4.3 随時開催 研修協力施設 25施設 研修期間 1～5日間 受講者15人のうち就業者10人(就業率 66.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別研修受講状況 <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>周南</th> <th>山口</th> <th>萩</th> <th>宇部</th> <th>山陽小野田</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>15</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資格別研修受講状況 <table border="1"> <tr> <th>資格</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>② 未就業看護職対象研修(集合研修) 1回目：R3.7.1 参加者3人 2回目：R3.10.1 参加者4人</p> <p>③ 調整会議 R4.1.26 出席者22人</p> <p>④ 広報 チラシを作成し、各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種研修参加者に配布</p>	地域	周南	山口	萩	宇部	山陽小野田	下関	合計	人数	1	6	1	1	3	3	15	資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	1	0	8	6	15
地域	周南	山口	萩	宇部	山陽小野田	下関	合計																						
人数	1	6	1	1	3	3	15																						
資格	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計																								
人数	1	0	8	6	15																								
(4) 再就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	<p>① 再就業コーディネーターによるハローワークでの出張相談、就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワーク別出張相談状況 R3.6～R4.3 <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>岩国</th> <th>周南</th> <th>防府</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>27</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>82</td> </tr> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い1.28ハローワーク岩国の相談は中止、2月ハローワーク出張相談はすべて電話対応</p> <p>② 再チャレンジ研修の調整、受講者の就業相談支援</p>	地域	岩国	周南	防府	山口	宇部	萩	下関	合計	回数	10	11	11	11	11	11	11	76	件数	6	10	5	27	6	15	13	82	
地域	岩国	周南	防府	山口	宇部	萩	下関	合計																					
回数	10	11	11	11	11	11	11	76																					
件数	6	10	5	27	6	15	13	82																					

事業項目	主な事業内容																												
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	<p>③臨床心理士による専門相談 第4火曜日 相談件数6件</p> <p>④調整会議 第1回 R3.4.26 第2回R4.3.24</p> <p>⑤就業サポーターとの合同会議 R3.10.27</p> <p>⑥広報 チラシを作成し、各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種研修参加者に配布</p> <p>①サテライトでの相談、就業支援R3.5～ R4.3</p> <table border="1" data-bbox="596 640 1410 736"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>岩国・柳井</th> <th>周南</th> <th>山口</th> <th>宇部</th> <th>萩・長門</th> <th>下関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R3.6、R3.9 サテライト会場閉館のため下関地区電話対応 ※R4.1.18～2.28山口県新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、相談はすべて電話対応</p>	地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計	回数	11	11	11	11	11	11	66	件数	1	3	19	9	2	1	35				
地域	岩国・柳井	周南	山口	宇部	萩・長門	下関	合計																						
回数	11	11	11	11	11	11	66																						
件数	1	3	19	9	2	1	35																						
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<p>②施設・看護学校訪問 ・求人施設訪問 24件 ・看護学校訪問 4件</p> <p>③調整会議 第1回R3.4.26、第2回R4.3.24</p> <p>④再就業コーディネーターとの合同会議 R3.10.27</p> <p>⑤広報 チラシを作成し、各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種研修参加者に配布</p> <p>①看護師等就業協力員研修会の開催 R3.11.12 参加者：17人(会場7人、Zoom10人) 「中学校におけるキャリア教育について」</p> <p>②活動内容：進路相談、学校訪問、潜在看護師などの就業相談等の活動を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため病院などでの活動が充分でできなかったとの報告が多かった。</p>																												
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<p>①器材の貸出 ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種</p> <table border="1" data-bbox="596 1503 1107 1823"> <thead> <tr> <th>器材名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>万能型成人実習モデル</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>呼吸音聴取シミュレーター</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>吸引シミュレーター</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>採血・静脈シミュレーター</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>装着式採血静脈練習キット</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>男性用導尿・浣腸シミュレーター</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>女性用導尿・浣腸シミュレーター</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>②個人の技術演習 R3.5～ R4.3第1金曜日、第4火曜日に実施</p> <table border="1" data-bbox="596 1895 1197 1960"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>採血・注射</th> <th>吸引</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>22</td> <td>1</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	器材名	件数	万能型成人実習モデル	3	呼吸音聴取シミュレーター	6	吸引シミュレーター	6	採血・静脈シミュレーター	14	装着式採血静脈練習キット	2	上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	19	男性用導尿・浣腸シミュレーター	4	女性用導尿・浣腸シミュレーター	4	合計	58	内容	採血・注射	吸引	合計	件数	22	1	23
器材名	件数																												
万能型成人実習モデル	3																												
呼吸音聴取シミュレーター	6																												
吸引シミュレーター	6																												
採血・静脈シミュレーター	14																												
装着式採血静脈練習キット	2																												
上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	19																												
男性用導尿・浣腸シミュレーター	4																												
女性用導尿・浣腸シミュレーター	4																												
合計	58																												
内容	採血・注射	吸引	合計																										
件数	22	1	23																										

事業項目	主な事業内容																																																				
<p>(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)</p> <p>(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)</p> <p>(10)会議等への出席</p> <p>(11)日本看護協会との連携</p> <p>2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)</p>	<p>職能別研修参加者</p> <table border="1" data-bbox="595 327 1406 394"> <tr> <th>職能</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> </table> <p>③広報 HP、山口県ナースセンターリーフレットに掲載し、相談者、研修参加者に配布</p> <p>①施設訪問を利用して管理者に届出の協力依頼 ②届出登録者に電話での情報提供およびサポート ③看護学校訪問を利用して、届出の情報提供</p> <p>【届出者の状況】</p> <table border="1" data-bbox="595 674 1032 835"> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> <tr> <td>届出数</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>電話対応数</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>復職意向のある登録者数</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>eナース登録者数</td> <td>56</td> </tr> </table> <p>①再就業支援相談会の開催(ハローワークと共催)</p> <table border="1" data-bbox="595 904 1401 1133"> <tr> <th></th> <th>山口会場</th> <th>周南会場</th> <th>下関会場</th> <th>宇部会場</th> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>R3.11.5</td> <td>R3.11.9</td> <td>R3.11.17</td> <td>R3.11.25</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>パルトピア やまぐち</td> <td>周南市文化 会館</td> <td>海峡メッセ 下関</td> <td>ときわ湖水 ホール</td> </tr> <tr> <td>参加施設数</td> <td>6施設</td> <td>6施設</td> <td>23施設</td> <td>18施設</td> </tr> <tr> <td>参加求職者数</td> <td>18人</td> <td>22人</td> <td>55人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>うち就業者数</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> </tr> </table> <p>②看護職再就業支援相談会のあり方検討会(ハローワーク連携事業も兼ねる) 2回 第1回 R3.7.13 出席者12人 第2回 R3.3.17 出席者10人</p> <p>①山口県看護職員確保対策協議会</p> <p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議(Web会議) R3.5.21 出席者1人 ②労働法に関する勉強会(Web会議) R3.7.21 出席者2人 ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会(Web会議) R3.9.22 出席者2人 ④都道府県ナースセンターキャリアコンサルティング研修(動画配信) R3.11.1~11.30 4人受講 ⑤職業紹介責任者講習会(リモート) R3.12.17 受講者1人 R3.12.22 受講者1人 R3.12.24 受講者1人 ⑥2021年地域に必要な看護職確保推進事業実施報告会 R4.3.23 参加者2人</p> <p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p>	職能	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	1	0	14	8	23	項目	人数	届出数	355	電話対応数	186	復職意向のある登録者数	128	eナース登録者数	56		山口会場	周南会場	下関会場	宇部会場	開催日	R3.11.5	R3.11.9	R3.11.17	R3.11.25	場所	パルトピア やまぐち	周南市文化 会館	海峡メッセ 下関	ときわ湖水 ホール	参加施設数	6施設	6施設	23施設	18施設	参加求職者数	18人	22人	55人	56人	うち就業者数	2人	2人	13人	8人
職能	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計																																																
人数	1	0	14	8	23																																																
項目	人数																																																				
届出数	355																																																				
電話対応数	186																																																				
復職意向のある登録者数	128																																																				
eナース登録者数	56																																																				
	山口会場	周南会場	下関会場	宇部会場																																																	
開催日	R3.11.5	R3.11.9	R3.11.17	R3.11.25																																																	
場所	パルトピア やまぐち	周南市文化 会館	海峡メッセ 下関	ときわ湖水 ホール																																																	
参加施設数	6施設	6施設	23施設	18施設																																																	
参加求職者数	18人	22人	55人	56人																																																	
うち就業者数	2人	2人	13人	8人																																																	

事業項目	主な事業内容																																																		
<p>(2)1日ナース体験 (山口県委託)</p> <p>(3)看護の魅力発見 (山口県委託)</p> <p>(4)看護職員の学校訪問 (山口県委託)</p> <p>3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援</p> <p>(2)日本看護協会との連携</p> <p>(3)医療勤務環境改善に関するア</p>	<p>①作成75,000枚</p> <p>②配布</p> <table border="1" data-bbox="598 358 1404 492"> <thead> <tr> <th>配布先</th> <th>配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内の中学校(149校)・高等学校(95校)</td> <td>67,950</td> </tr> <tr> <td>県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関</td> <td>7,050</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流 協力病院：20施設 開催時期：夏休み中 参加者：中学生72人 高校生115人</p> <p>① 看護の魅力発見開催状況(人数)</p> <table border="1" data-bbox="598 739 1404 996"> <thead> <tr> <th></th> <th>豊浦地域</th> <th>萩地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力病院</td> <td>山口県済生会豊浦病院</td> <td>都志見病院</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>R3.10.10</td> <td>R3.10.31</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>川棚公民館</td> <td>サンライフ萩</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護の魅力発見では、ミニナース体験、看護の進路相談などを実施</p> <p>②実行委員会の開催 2回 第1回R3.8.31 第2回R3.12.7</p> <p>看護師等就業協力員による中学校訪問の実施</p> <table border="1" data-bbox="598 1176 1005 1489"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>訪問校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>柳井</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>周南</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>防府・山口</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>宇部・山陽小野田</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>長門</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>下関</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>①労働環境支援委員会 4回</p> <p>②看護職員就労定着支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーワークプレイス研修会 R3.9.9 9.10 9.24 受講者：29人 ・アドバイザー派遣事業 依頼件数：0件 ・セカンドキャリア支援研修会 R3.12.14 受講者：16人 セカンドキャリア人材登録者 4人 <p>①都道府県看護協会看護労働担当者会議(Web開催) R3.5.19 出席者：1人</p> <p>①医療勤務環境改善アドバイザー派遣 派遣件数：0件</p>	配布先	配布枚数	県内の中学校(149校)・高等学校(95校)	67,950	県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	7,050		豊浦地域	萩地域	協力病院	山口県済生会豊浦病院	都志見病院	開催日	R3.10.10	R3.10.31	場所	川棚公民館	サンライフ萩	小学生	15	13	中学生	1	3	高校生	1	4	その他	16	17	地 域	訪問校数	岩国	1	柳井	2	周南	1	防府・山口	3	宇部・山陽小野田	3	長門	2	萩	0	下関	2	合 計	14
配布先	配布枚数																																																		
県内の中学校(149校)・高等学校(95校)	67,950																																																		
県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関	7,050																																																		
	豊浦地域	萩地域																																																	
協力病院	山口県済生会豊浦病院	都志見病院																																																	
開催日	R3.10.10	R3.10.31																																																	
場所	川棚公民館	サンライフ萩																																																	
小学生	15	13																																																	
中学生	1	3																																																	
高校生	1	4																																																	
その他	16	17																																																	
地 域	訪問校数																																																		
岩国	1																																																		
柳井	2																																																		
周南	1																																																		
防府・山口	3																																																		
宇部・山陽小野田	3																																																		
長門	2																																																		
萩	0																																																		
下関	2																																																		
合 計	14																																																		

事業項目	主な事業内容
<p>ドバイザー派遣業務 (山口県委託)</p> <p>4) 新型コロナウイルス対応 看護職員緊急確保事業 (山口県委託)</p>	<p>①看護職員紹介マネジメント専門員の設置</p> <p>②潜在看護師掘り起こし求人施設のマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在看護師掘り起こしのためのチラシ配布 ・ナースセンター事業の未就業者に電話及び来所時に呼びかけ ・新型コロナウイルス就業協力者の登録及びリスト作成 <p>宿泊療養施設採用 13人</p> <p>医療機関採用 8人</p> <p>③現状調査</p> <p>142病院の看護管理者を対象に新型ウイルス感染症に関する現状調査 調査期間：R3.7.6～7.20 回答率：73%</p> <p>④新型コロナウイルス感染症対策看護職員派遣制度(派遣調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽症者宿泊療養施設への看護師派遣調整 <p>調整の内訳 派遣病院：延べ26施設 派遣看護師数：42人 派遣日数：276人日 山口県看護協会職員の派遣 派遣期間：R3.5.4～ R3.5.31 派遣看護師数：10人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への派遣調整 ※本協会での調整のみ記載 <p>調整の内訳 派遣病院：延べ25施設 派遣看護師数：34人 派遣日数：合計 352日</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症対応研修会 R3.5.29 参加者 25人</p> <p>⑥新型コロナウイルス軽症者等に係る宿泊療養所の説明会 3回 R3.4.28 参加者 6人 R3.5.13 参加者 6人</p> <p>⑦看護管理者、感染管理認定看護師を対象とした研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者会議 R3.7.28 参加者：56人 ・感染管理認定看護師スキルアップ研修会 R3.7.12.1 参加者：19人 <p>⑧クラスター発生医療機関の情報収集と支援 1施設</p>
<p>5) 新型コロナウイルス感染症対応事業</p> <p>(1) 看護職員メンタルサポート事業 (山口県委託)</p>	<p>①メンタルサポートに関するニーズ調査及び情報収集</p> <p>メンタルサポートに関するニーズ調査 R3.8.1～8.16 142病院を対象に調査 回答91施設 (回答率64%)</p> <p>②メンタルヘルス相談(個別相談)</p> <p>R3.8～ R4.3 毎月第1土曜日、第3木曜日 対面およびZoomによるリモート面接 相談実人数9人、延べ人数13人</p> <p>③管理者等に対するメンタルヘルス研修会の開催 1回 R3.11.23 参加者 看護管理者68人</p> <p>④出張による個別相談会及び院内研修 R3.10月～12月 山口県内10病院と1支部で開催 11か所 参加者：看護管理者156人、看護職スタッフ70人、事務職、 コ・メディカル等 85人</p> <p>⑤事業の周知のために、チラシ作成をするとともにホームページに掲載</p>

事業項目	主な事業内容															
(2) 新 歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種のための実技研修会 (山口県委託)	① 研修会実施 R3.6.6 参加者198人 演習支援者6人 R3.6.26 参加者 31人 演習支援者4人															
(3) 新 令和3年度高齢者施設等における感染防止対策研修会 (山口県委託)	① 認定看護師による入所施設における新型コロナウイルス感染症対応研修会開催状況 <table border="1" data-bbox="598 537 1412 672"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>4月24日</th> <th>5月14日</th> <th>5月20日</th> <th>6月5日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場</td> <td>山口県看護研修会館</td> <td>周南学び・交流プラザ</td> <td>下関生涯学習プラザ</td> <td>山口県健康づくりセンター</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>43</td> <td>81</td> <td>63</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>	日時	4月24日	5月14日	5月20日	6月5日	会場	山口県看護研修会館	周南学び・交流プラザ	下関生涯学習プラザ	山口県健康づくりセンター	参加人数	43	81	63	49
日時	4月24日	5月14日	5月20日	6月5日												
会場	山口県看護研修会館	周南学び・交流プラザ	下関生涯学習プラザ	山口県健康づくりセンター												
参加人数	43	81	63	49												
(4) 新 新型コロナウイルス宿泊療養所看護職相互調整業務 (山口県委託)	① 宿泊療養施設体制確保 ・ 就業説明会開催 R3.10.15 参加者 9人 ・ 宿泊療養施設看護師の確保・配置・労務管理 R3.9.1～10.31 B施設開設 新規採用3人 R3.11.1 B施設からC施設へ移転 新規採用4人 ・ 全職員面談 4回 個人相談対応 6人 ・ 教育 感染管理教育 2回 入所から退所までのシミュレーション教育1回 ・ 軽症者宿泊療養施設体制整備・管理の為の訪問 A施設 72回 B施設 11回 C施設 56回 ・ 軽症者宿泊療養施設運営のための会議等への参画 A施設 11回 B施設 2回 C施設 8回 ② 入所施設向け新型コロナウイルス感染症対応研修 ・ 「新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設の実際と感染対策」研修会 R3.10.15 参加者9人															
(5)-1 新 新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業実施業務 (山口県委託)	① ワクチン接種研修会 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種研修会 開催回数 48回 参加者 283人 職能別研修参加者 <table border="1" data-bbox="598 1635 1412 1702"> <thead> <tr> <th>職能</th> <th>保健師</th> <th>助産師</th> <th>看護師</th> <th>准看護師</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>35</td> <td>3</td> <td>202</td> <td>43</td> <td>283</td> </tr> </tbody> </table>	職能	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	人数	35	3	202	43	283			
職能	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計											
人数	35	3	202	43	283											
(5)-2 新 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務 (日本看護協会委託)	② 潜在看護職等のワクチン接種業務への支援 ・ ワクチン1・2回目接種就業者 山口県集団ワクチン接種 27人 職域接種 4施設 27人 市町 16人 ・ ワクチン3回目接種就業者 2施設 11人															

事業項目	主な事業内容										
(6) 新型コロナウイルス感染症 対応看護職員離職防止相談事業 (日本看護協会委託)	③ 新型コロナウイルス接種業務を希望する看護職への実態調査 対象者：ワクチン接種業務に従事したeナース登録者 390人 回答数：205人(回収率52.6%) ・ワクチン接種業務の従事状況										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>従事</th> <th>非従事</th> <th>無回答</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>132</td> <td>68</td> <td>5</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table>	項目	従事	非従事	無回答	合計	人数	132	68	5	205
	項目	従事	非従事	無回答	合計						
	人数	132	68	5	205						
・ワクチン接種研修受講状況											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>本協会を受講</th> <th>他を受講</th> <th>未受講</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>106</td> <td>25</td> <td>74</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table>	項目	本協会を受講	他を受講	未受講	合計	人数	106	25	74	205	
項目	本協会を受講	他を受講	未受講	合計							
人数	106	25	74	205							
	④ 就業準備金申請書発行 申請書発行8月～12月 17回 234通										
	① 新型コロナウイルス感染症に関する看護職員の離職防止相談窓口の開設 相談者：2人										

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 看護業務の質の向上に関する 事業	
(1) 保健師職能委員会	① 保健師職能委員会 5回 R3.4.17 9.11 10.2 11.6 12.4 ② 支部職能委員との合同会議 1回 R3.11.6 ③ 全国職能委員長会 2回 R3.7.5 R4.3.3 ④ 地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携協会及びネ ットワークの構築	① 保健師職能集会の開催(中止) ② 保健師職能交流会の開催(中止) ③ 支部連携として合同会議の開催 R3.11.6 ④ ひたむきな保健師取材、会報きらめき 掲載 3回 会報「きらめき」掲載 (Vol.150、Vol.151、Vol.152) ⑤ ホームページ、会報・チラシによる情報発信
イ 保健師の専門性を発揮す るための資質向上の推進	① 研修会・交流会の実施(中止)
ウ 会員増加の推進	① 保健師職能集会や交流会の開催(中止) ② リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ ホームページ、会報による情報発信
(2) 助産師職能委員会	① 助産師職能委員会 5回(うち1回はZOOM 会議) ② 支部職能委員との合同会議 中止 ③ 全国職能委員長会 1回

事業項目	主な事業内容
ア 周産期医療の現状と課題の把握 イ 助産実践能力向上研修 ウ 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 エ 災害時の対応 オ 広報活動推進	④地区別助産師職能委員長会 1回 ①中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告の把握 ①新人助産師研修 8回 受講者：新人助産師16人(延べ88人) 産科出血の研修は県外講師であったためwebによる研修会を開催 ②中堅助産師研修 4回 受講者：81人 ③管理者交流会は助産師出向事業で実施したため職能委員会では開催していない ④CLoCMipレベルⅢの導入・活用推進 ①ガイドラインを活用した院内助産システムの推進 ①防災や災害について「知り」「備え」「行動する」ための研修開催 ①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等へ記事投稿
(3)看護師職能委員会 I ア 調査・研究活動 イ 連携強化および意識向上のための取り組み ウ 職能委員会活動の周知啓発活動 エ 職能集会、職能活動	①看護師職能委員会 I 6回 ②支部職能委員との合同会議(紙面調査) 1回 ③看護師職能Ⅱ合同会議 5回 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 2回 (Web開催) ⑤地区別看護師職能委員長会 1回 (Web開催) ①「看護師のクリニカルラダー JNA版」の活用普及に向けた活動 クリニカルラダーの推進に向けての人材育成研修 JNA研修ラダーの普及・推進に向けたクリニカルラダー研修 (JNAオンデマンド活用) R3.11.26. 参加者:22人 ①病院管理者と行政保健師の連携強化に向けた活動 各々の専門領域の役割や活動等について理解を深め、連携上の課題を抽出し、情報共有を行う。 ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力 ①会報「きらめき」の活用 会報「きらめき」掲載 (Vol.150) ②ホームページの活用 ③支部職能委員会との連携強化、情報共有 ①看護師職能集会 延期 ②日本看護協会、支部との連携 (紙面調査を実施) 1回
(4)看護師職能委員会 II	①看護師職能委員会Ⅱ 6回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議 (紙面調査) 1回

事業項目	主な事業内容
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	③看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議 5回 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 2回 (Web開催) ⑤地区別看護師職能委員長会 1回 (Web開催) ①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内19施設(17会場)で開催
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会：延期
ウ 4職能委員会の連携推進	①看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 ・合同会議 5回 ②地域包括ケアシステム構築に向けた多職種間の連携推進
エ 支部看護師職能委員Ⅱとの連携強化	①支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(紙面調査) 1回 ・支部活動の理解と把握及び情報の共有 ・日本看護師職能Ⅱ委員会の課題等について情報収集・意見集約
オ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)延期 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 会報「きらめき」掲載 (Vol.150)
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 中止 ②助産師職能集会 1回 R3.11.13 ③看護師職能集会 1回 中止
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 7回
ア 圏看護制度の課題解決への取り組み	①看護教育についての課題解決に向けた取り組み 看護教員との意見交換会1回 研修会 1回 ②准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けた支援方法を検討 感染対策研修会 1回 ③看護専門領域の資格取得者との連携強化 意見交換会 1回
イ 日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議 1回
ウ 広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業(山口县委託事業)	①助産師出向支援の実施 意向調査結果より1事例に対し調整を行い助産師出向の実施 目的：研修出向 期間：R3.11.1～R3.11.30 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 第1回 R3.8.26 第2回 R4.3.3 ③助産師出向に関する調査の実施 期間：R3.10.1～R3.11.15 対象：山口県内分娩取扱施設28施設

事業項目	主な事業内容
	回答：22施設(回答率 78.6%) ④助産師出向支援導入事業看護管理者会議の開催 R4.2.26 出席者：16人

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践事業を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護ステーション管理者、地域包括支援センター保健師等による検討会を設置 ①検討会 岩国：1回、柳井：1回、周南：2回、防府：2回、宇部・小野田：3回、長門：2回、萩：1回、下関：2回 ②研修会 柳井：DVD研修1回、周南：1回、防府：Web研修1回、宇部・小野田：Web研修1回、長門：3回、下関：2回
(2)在宅ケアの推進 ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進	①在宅ケア推進委員会 5回 R3.4.14、8.3、9.28、11.30、R4.1.6 ①在宅ケアにおける看護の機能強化への方向性を探るための現状把握 ・令和2年度に実施した「地域における看護の機能強化のための連携について」のアンケート結果から見えてきた課題の抽出、絞り込み ・現状と課題を追究するためのアンケート調査の企画 ①訪問看護師育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催 ②訪問看護講師人材養成研修への参加
(3)訪問看護師育成支援事業 (山口県委託) ア 訪問看護師の看護実践能力の向上 イ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み	①訪問看護入門研修 訪問看護新任者および未経験者対象 R4.3.17、24 2日間 受講者： 実人数41人、 延人数 80人 ②訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) R3.5.16～12.16の間 180時間 31日 (訪問看護事業所見学実習2日を含む) 修了者19人 ③訪問看護師スキルアップ研修 訪問看護研修ステップ1 「在宅における感染管理」の公開講座 受講者：20人 「在宅における災害対策 基本編」 受講者：34人 ④訪問看護実践研修 ⑤訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動、情報提供 ①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供 ②訪問看護実践研修への参画、提言

事業項目	主な事業内容
<p>(4)日本看護協会及び関係団体との連携</p> <p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p> <p>3)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p>	<p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力</p> <p>②関係団体との連携協力</p> <p>③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回(Web)</p> <p>①経営目標に基づく安定した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：46件 とくち：58件 ひかり：30件 あぶ：38件 ・在宅看取り ほうふ：2件 とくち：4件 ひかり：4件 あぶ：4件 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ほうふ：2件 とくち：4件 ひかり：4件 あぶ：1件 ・利用者の受診介助 ほうふ：12件 とくち：0件 ひかり：36件 あぶ：1件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 R3.5.18 R3.12.21 <p>②質の高い訪問看護サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サミット2022への参加 2人 ・その他の研修参加 ほうふ：16回 ひかり：15回 あぶ：3回 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ・BCPの作成(2年以内) <p>③訪問看護に関わる関連団体との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ：42人 ひかり：8人 あぶ：11人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 <p>④広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布 <p>中止 普及啓発グッズの配布のみ実施</p> <p>中止</p>

事業項目	主な事業内容
(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)	<p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日 相談件数：158件(がん相談：130 がん以外の相談：28件)</p> <p>②他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援のための会議 山口県がん総合診療連携協議会相談支援部会(Web会議)4回 R3.6.3、8.19、9.18、R4.3.29 各回2人出席</p> <p>③がん相談支援スキルアップ研修会参加 令和3年度山口県がん相談支援スキルアップ研修会 R3.12.11 2人参加 第36回日本がん看護学会学術集会(Web) R4.2.19～20 2人参加</p> <p>④相談窓口の積極的な利用の促進 新聞広告掲載16回、防長バス車内放送、広告入りマスク配布、 広告入りアルコールウェットティッシュを3回目ワクチン広域集団接種会 場で配布</p>
4)災害時の看護支援活動に関する事業	
(1)災害支援活動体制の整備、充実	<p>①災害支援体制の整備・充実 ・災害派遣手順の改定 ・災害支援ナース実践活動マニュアル周知 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備</p>
(2)災害支援ナースの養成および 資質向上のための支援	<p>①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) JNA収録DVD研修 R3.9.3～9.4(2日間) 受講者及び修了者 42人</p> <p>②災害支援ナースフォローアップ研修 R3.10.12 受講者及び修了者 48人</p> <p>③災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動</p>
(3)平常時の防災活動の推進	<p>①山口県総合防災訓練へのWeb展示参加</p> <p>②災害支援物品の整備</p>
(4)日本看護協会、関係機関、他 団体との連携および協働	<p>①都道府県看護協会災害看護担当者会議(Web開催) R3.12.16</p> <p>②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p>
(5)委員会	<p>①災害支援委員会 5回 R3.4.16、7.30、9.14、11.24、R4.1.12</p>
5)「看護の日」及び「看護の心」 PR事業	
(1)看護の日・看護週間行事開催	<p>①2021年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ・高校生を対象に「看護の日」トークイベントのパブリックビューイングを開催 R3.5.9 ・防護服・パネルの展示、手洗いチェック・進路相談を実施</p> <p>②会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 8施設 参加者1,974人</p> <p>③ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 3施設 参加者77人</p>

事業項目	主な事業内容
(2)看護のPR	④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布 ①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 中止 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 R3.11.17～11.18 中学生参加者197人 ③みらいWalker★UBE出展 R3.10.6～10.7 中学生参加者181人 ④職場体験 ⑤進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	※法人事業 ①通常総会 R3.6.9 ②理事会 R3.4.9(書面)、5.7、6.9、7.29、9.17、11.25・26、R4.2.24・25 ③法人会員会 R3.5.7、6.4、7.30、9.17、R4.2.25 地区別法人会 R3.10.28 ④代議員研修会 5.22 ⑤都道府県看護協会事務担当者会議 公益法人運営に関する勉強会 R3.11.5 ⑥都道府県看護協会政策責任者会議 R3.9.16 ⑦会員情報管理情報交換会 R3.10.4 ⑧全国准看護師理事会議 中止 ⑨都道府県看護協会広報担当役員会議 R3.11.12 ⑩全国看護基礎教育担当役員会議 R3.11.5 ※公益事業 ⑩全国職能交流会 R3.6.10 ⑪全国職能委員長会 R3.7.9、R4.3.3 ⑫地区別職能委員長会 R3.10.29 ⑬訪問看護連絡協議会合同会議 R3.11.11 ⑭ナースセンター事業担当者会議 R3.5.21 ⑮都道府県看護協会教育担当者会議 開催なし ⑯都道府県看護協会災害看護担当者会議 R3.12.16 ⑰都道府県看護協会看護労働担当者会議 R3.5.19 ⑱都道府県看護協会医療安全担当役員会議 開催なし
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸 7件 ②会員及び支部に対し会議室等を無料貸出 10件

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 6人表彰 ④ 傷病見舞5件、罹災見舞、死亡弔慰金2件等の支給 ⑤ 会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥ レジャー施設入場支援 ⑦ レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容																
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターへの相談件数 52件 内訳 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>分類</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業関連の悩み</td> <td>18</td> <td>看護業務</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>進学・進路</td> <td>5</td> <td>職場環境</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>学習(研究)支援</td> <td>2</td> <td>その他</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	分類	件数	分類	件数	就業関連の悩み	18	看護業務	5	進学・進路	5	職場環境	9	学習(研究)支援	2	その他	13
分類	件数	分類	件数														
就業関連の悩み	18	看護業務	5														
進学・進路	5	職場環境	9														
学習(研究)支援	2	その他	13														
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議																
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営																
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) R3.6.19 ② 理事会(※法人) 7回 常務理事会(※法人) 5回 監査会(※法人) 2回 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回 ・ 推薦委員会(※法人) 2回 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 2回 ・ 選挙管理委員会 1回 ・ 他、各種会議(※法人)																
(3) 看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問																

事業項目	主な事業内容
<p>4) 広報活動事業</p> <p>(1) 広報活動</p> <p>(2) 各種情報提供</p> <p>5) 他団体との連携</p> <p>(1) 看護教育機関との連携</p> <p>(2) 看護関連政策の推進</p> <p>(3) 他団体との共催行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理者会議 R3.7.4 参加者：88人 ②看護協会入会促進 <ul style="list-style-type: none"> ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 訪問看護事業所(149)・介護老人施設(204)・病院(142) 看護学校(27)・行政(29)。 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校へ看護協会案内とNursingNowのチラシ、Tシャツを配布 ・高校生・中学生を対象とした看護の魅力や看護協会の周知活動 「看護の日・看護週間」イベントの開催案内、NursingNowのチラシ、ポケットティッシュの配布 ①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル：常務理事会で協議 ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ①会員増加の推進(※収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・通郵便 1回/月 ・印刷物等配布 ①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人) 看護学校卒業生(30校1071人)に記念品と協会案内を送付 ①要望・事業提案(※法人) <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・令和4年度施策、予算措置についての要望書を提出 ・令和4年度地域医療介護総合確保基金の事業提案 ・日本看護連盟・山口県看護連盟との連携 看護問題を考える山口県議会議員連盟と山口県看護連盟及び山口県看護協会との意見交換会 R3.8.18 中国・四国地区看護協会・看護連盟合同会議 R3.10.29 山口県看護協会・山口県看護連盟合同研修会 R3.11.11 都道府県看護連盟・看護協会長合同会議 R4.2.25 ①医療関係団体新年互例会(※法人) 中止 ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和3年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修名(テーマ)	開催日	受講者数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
専門職業人として求められるもの ～山口県看護協会について～ 看護って素晴らしい！ ～新人ナースの皆さんへのメッセージ～	5/20(木)	63	33	30

【看護研究】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
【オンライン講義】	楽しくわかる！看護研究 「研究計画書作成の方法」	5/15(土)	50	42	8
楽しくわかる！看護研究 「量的研究と統計手法」(2日間)		7/13(火)、7/14(水) →2/8、9へ日程変更	中止	0	0

【看護管理】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
管理者のタイムマネジメントとムダ削減の実践 ～ムリ・ムラ・ムダの削減と効率化を学び、看護現場の問題解決に役立てよう～		9/29(水)	中止	0	0
【オンライン講義】	組織が活性化するサーバントリーダーシップ	12/18(土)	54	54	0
【オンライン研修】	看護部としておさえておきたい 2022年診療報酬改定のポイント	令和4年2/1(火)	66	65	1
【オンライン講義】	看護管理者に必要なレジリエンスとは ～しなやかで折れない心を育てるために～	7/31(土)	49	47	2
プレ管理者向け研修					
リーダーシップに必要な要素について学ぼう ～統率力・率先力・コミュニケーション力～		令和4年2/12(土)	中止	0	0

【自己教育】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
論理的な「考え方」「話し方」のコツ		7/8(木)	中止	0	0
アンガーマネジメント		8/18(水)	中止	0	0
【オンライン講義】	やる気スイッチを入れるコーチング	11/11(木)	58	53	5
特定行為研修を修了したら何が変わる？ ～特定行為研修で得られるもの		8/4(水)	14	14	0
【オンライン研修】	ナースのためのストレスマネジメント ～コロナ禍をみんなで乗り切ろう！～	5/27(木)	20	17	3

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
ウイルス性肝炎に関する 患者・家族指導に必要な知識を学ぼう	7/10(土)→11/27(土) 日程変更	16	16	0
【オンライン研修】「呼吸管理の基礎」 (酸素療法と人工呼吸器管理も含む)」	8/24(火)	100	99	1
【DVD研修】ハート先生の 「ナースのための心電図教室」	10/13(水)	85	80	5
【オンライン講義】現場で使える看護師の臨床推論	9/1(水)	29	27	2
【オンライン講義】いまさら聞けない フィジカルアセスメント	12/4(土)	57	51	6

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
見過ごしてはいけない急変の兆候と対応	6/2(水)	中止	0	0
ベッドサイドの摂食嚥下ケア	9/15(水)	40	37	3
褥瘡ケアの基本と応用 ～こんなときはどうする？実践に活かすためのポイント～	令和4年 1/20(木)	中止	0	0
【オンライン講義】「抑制低減に向け明日からの看護に。 ～ウチでは無理！から、一歩を踏み出そう～」	12/11(土)	96	91	5
【基礎編】 感染の基礎知識 ～患者さんやあなた自身を感染から守ろう～	7/1(木)	64	55	9
【オンライン講義】【応用編】 楽しく学べる 感染管理・感染対策の基本	10/1(金)	76	75	1
【オンライン講義】どの子どもも幸せになってほしい！ 子育て支援にかかわる人のための対象理解と関わり方	8/25(水)	24	23	1
高齢者看護に必要なアセスメントとケア ～多角的にとらえるポイント～	令和4年 1/25(火)	中止	0	0
【オンライン講義】認知症を持つ人の理解とかかわり方 ～始めてみようよタッチケア～	12/2(木)	85	83	2
【オンライン講義】エコーを看護分野で活用しよう！	11/30(火)	75	73	2

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
医療従事者の安全を支えるノンテクニカルスキル	6/23(水)	中止	0	0
【オンライン講義】 災害発生！その時あなたはどう動く!? ～災害時、施設における受援体制について～	9/22(水)	43	42	1
地域の社会資源・制度を活用しよう！	9/7(火)	65	62	3

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
「人生会議」 ～アドバンス・ケア・プランニングを支える取組み～	10/26(火)	84	81	3
基礎から学ぶ看護倫理	6/5(土)	中止	0	0

アンケート枠

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
「フレイル・サルコペニア」を防ごう！ ～基礎知識とケアのポイントを学ぼう～	令和4年 2/19(土)	中止	0	0

令和3年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 白銀優子

活動目標	地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 医療・看護・介護従事者との連携・ツールの課題を検討し改善する
評価と今後の課題	新型コロナ第5波蔓延時期にて、表立った活動が実施されていない。 今後は「With コロナ」コロナ撲滅困難であることを前提に活動実施に向けて具体策を構築させる必要がある。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修：支部研修会：コロナ禍により実施困難 2)職能研修： 岩国市医師会コ・メディカル研修会：R3.11.18 岩国市医療センター医師会病院東棟4階：参加者47名 講演：「新型コロナウイルス感染対策」 岩国医療センター感染管理認定看護師 上成敏爾 先生 3)支部合同看護マネジメント研究会(開催地：柳井市) (コロナ蔓延の為中止→R5.2.4に開催予定とした)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し支部会員に研修参加への働きかけ 2)コロナ自宅療養者の健康観察に潜在看護師の派遣により、各自院の業務に支障を来すことは回避された。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催 まちの保健室開催5回予定していたが、対面での開催は中止 2)進路相談：まちの保健室開催困難なため中止 今後コロナ禍での活動に向けて模索中である。 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 訪問看護実践研修検討会：1回目 R3.12.2 参加者：8名 2回目：中止 3)地域包括ケア・認知症予防の啓発事業(中止) 4)岩国市地域包括ケア推進大会(中止)
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 県協会に協力 2)看護職交流会(コロナ禍の為中止)
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) (2)看護学校入学式、卒業式祝電 2)支部集会 規模縮小にて開催 R3.7.10 出席者：27人 委任状：354人 3)支部役員会 3回開催(うち1回WEB) 4)支部委員会 (1)職能委員会(支部委員会と同日開催) (2)教育委員会(支部委員会と同日開催) (3)推薦委員会2回 (4)選挙管理委員会1回 (5)広報活動：県協会報「きらめき」への投稿

柳井支部事業報告

支部長 大東美恵

活動目標	1)地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染拡大で主な活動は中止。支部役員会議、在宅療養支援に係る看護職の連携推進のための検討会議は集合形式で開催した。次年度も、感染対策を講じながら会議・委員会を通して役員間の交流を図り代替案等検討し、今後の活動に繋げていきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 中止 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 中止
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけを継続
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事は、各施設で実施 2)健康相談・啓蒙等の事業 (1)まちの保健室 中止 手指衛生に関するリーフレットとアルコール消毒液の店舗設置を計画し、令和4年3月の支部委員会議内で実施に向けて準備予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため会議を中止。次回支部委員会で準備し、実施予定。 (2)国際助産師の日事業 中止 (3)進路相談 各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職の連携推進研修 (1)検討会 9月6日第1回検討会開催 第2回検討会(2月)中止 「柳井支部訪問看護ステーション等見学実習要項」「柳井支部訪問看護ステーション等見学実習実施手順」「実習記録用紙」等作成。見学実習は新型コロナウイルス感染を考慮して中止。研修会開催の代替で作成した「訪問看護理解のためのDVD」を支部内29施設に10月の通送便で配布。各施設内の研修等で閲覧し、その結果をアンケート調査した。アンケート結果は集計済み。次年度会議でアンケート結果を報告し、見学実習に向けての検討を再開予定。
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 (1)県協会への協力 継続
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 令和3年度第1回柳井医療圏地域医療構想地域調整会議(書面会議)、地域密着型サービスの事業所の指定に係る意見照会及び回議による議決に参加した。 (2)看護学校4校への入学式、卒業式の祝電を実施 2)組織運営に関する事業 (1)支部集会 R3.7.31(土)開催。参加者21人 委任状517人 合計 538人 (2)支部役員会 9月、12月に2回開催。(令和4年3月は中止) (3)支部委員会(職能委員会、教育委員会、推薦委員会、選挙管理委員会) 9月、12月に2回開催。(令和4年3月は中止) 3)広報活動 「支部長紹介」「支部インフォメーション」で県協会広報「きらめき」へ投稿した。

周南支部事業報告

支部長 久保しのぶ

活動目標	1)会員の看護の質の向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
評価と今後の課題	支部事業は、コロナの影響で研修会の延期があったが、後期に感染状況を見ながら研修会を開催できた。次年度は、看護の質向上を図りながら地域や他職種との連携を深める為に役員・委員が中心となり、会員に働きかけを行っていく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育・職能委員会合同研修会 9月18日コロナのため延期 12月4日(土)開催 「褥瘡ケア～創らない悪化させない 看間違えない」講師：徳山中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 原田清美先生参加者：45名 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会(柳井支部担当) 中止
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり 県協会労働環境支援委員会の研修会参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事 各施設で、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓蒙等の事業 (1)まちの保健室 中止 (2)国際助産師の日事業 中止 (3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業 ①検討会2回開催 ②研修会1回開催 11月13日(土)「生活の視点を重視した支援について」周南西部包括支援センター所長 堀家幸美先生 参加者：36名 (4)その他：①地域行事での救護協力 依頼なし ②「リレーフォーライフジャパン2020やまぐち」中止
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 2)その他の事業 ①看護管理者交流会 11月6日(土)「ストレス解消のイチヒント」社会福祉法人 はるか 公認心理師 大津秀隆先生 参加者：22名
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R37.17(土)10:00~11:00出席12人 委任状1545人 2)支部役員会 6回開催(1回はコロナで中止) 3)支部委員会 ①職能委員会6回(1回はコロナで中止) ②教育委員会6回(1回はコロナで中止)③推薦委員会2回 ④選挙管理委員会 1回 4)広報活動 ①「きらめき151号」「きらめき153号」投稿

防府支部事業報告

支部長 達川明美

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携強化 地域ケアサービスの継続
評価と今後の課題	新型コロナウイルスの影響で活動が制限されていたが、感染対策を講じた上で、役員、委員、関係施設と連携して計画した事業を実施した。まちの保健室等不特定多数の人と接触するイベント等については、今後も感染状況を踏まえながら、企画・運営方法を検討する必要がある。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護研究発表会 1回 R4.2.19オンライン開催 2例発表 参加者24人 講評：山口県立大学看護栄養学部 唐田順子先生
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ 中止
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 中止 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 中止 (2)進路相談・看護職の就労支援 中止 3)保健師交流 (1)保健師情報交換会 中止 4)在宅療養支援のための看護職連携推進の強化 (1)研修会 1回 オンライン研修 R3.6.5. 参加者：32人 公演 テーマ「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」 ～へき地医療の経験から～ 講師：山口県立総合医療センターへき地支援センター長 原田昌範先生
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員の福利厚生等に関する事業 (1)親睦会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)地域会議への出席 3回 2)支部集会R3.7.17 出席者：24人 委任状：549人 計：573人 3)支部役員会 5回 その他 中止 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)協会ホームページへ投稿

山口支部事業報告

支部長 中村幸江

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の強化を図る 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
評価と今後の課題	昨年同様、新型コロナウイルスの影響で地域での活動は制限され実施できなかったが、昨年から計画していた研修会は開催することができた。参加者の中には集合研修に対して抵抗をしめされる方もあったが、高評価の意見も多く聞かれた。今回の意見を受け、コロナ渦でもできる研修の企画・検討をし、看護力の強化に努めていきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ① テーマ「感染対策の基本と実際～流行期への備えと発生時の対応～」 日時：R3.12.25(土)9時～11時 講師：山口県立大学 家入裕子先生 参加人数：76人 (2)看護研究指導 実施施設なし
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 2)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力 3)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 アピール動画作成(中高生対象)・ポスター作成
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び看護週刊行事の開催は各施設で実施 2)まちの保健室 新型コロナウイルス感染防止の為中止 3)地域連携推進委員会として 研修会企画は新型コロナウイルス感染防止の為中止 山口支部共通の「看護情報提供書」の見直しと作成 4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 実施なし
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦協力 未実施 2)その他の事業 支部集会後の研修会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)看護学校入学・戴帽式・卒業式・入学式 3校 祝電 (2)地域会議への出席 8回(うち1回書面会議) 2)支部集会 R3.7.17(土) 出席者：16名 委任状：1152 3)支部役員会 (1)6回開催 (うち1回紙面会議) 4)支部委員会 (1)職能委員会・教育委員会・地域連携推進委員会 6回(うち1回紙面会議) (2)選挙管理委員会・推薦委員会 2回開催 5)広報活動事業 (1)県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業報告

支部長 高見由美子

活動目標	全世代を対象とした健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
評価と今後の課題	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、まちの保健室等の地域ケアサービス実施はできなかった。今後の活動方法について再考する必要がある。研修については感染対策を徹底し、予定通り開催できた。在宅療養支援のための看護職連携推進検討会では小野田支部と合同でZOOMを利用して研修会を行った。オンライン形式を初めて行い今後の参考となった。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 ①7月3日：テーマ「コロナ禍における看護職のメンタルヘルス」 講師：山口宇部医療センター 精神科 小野光弘 医師 出席者：31名（職能合同） ②11月27日：テーマ「アドバンス・ケア・プランニングについて」 講師：山口大学医学部附属病院 野村さやか 緩和ケア認定看護師 出席者：38名
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を新型コロナウイルス感染予防対策を鑑み実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室・助産活動：今年度開催中止 (2)くすのきカントリーマラソン大会への救護協力：ナースセンターに依頼 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 医療圏別訪問看護実践研修検討会 第1回検討会 6月4日 出席者10名 第2回検討会 8月27日 出席者9名 第3回検討会 2月25日 出席者7名 研修会 12月10日 テーマ「訪問看護師を知ってもらうために」 対象 病院勤務の看護師 ZOOM配信で実施
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)職能合同研修会：7月 3日(土) 教育委員と合同で実施 テーマ「コロナ禍における看護職のメンタルヘルス」 講師：山口宇部医療センター 精神科 小野光弘 医師 出席者：31名
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 6回開催(うち2回は書面会議) 2)支部委員会 職能委員会 2回 教育委員会 7回 推薦委員会 1回 3)支部集会 R3. 7. 3(土) 出席者：20名 委任状：1680名 4)その他 (1)看護学校入学式・卒業式 祝電(2校) (2)地域会議への出席 ①宇部市防災会議 2回(書面会議) 5月・1月 ②新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 3回 5月(WEB)・10月・1月 ③宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回(書面会議) 9月・3月 (3)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿

小野田支部事業報告

支部長 勝間とみ江

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大防止で、予定した事業が中止となるものもあったが、オンラインを活用したイベントへの動画投稿や研修を開催することはできた。今後も感染状況を踏まえ、事業内容を実施可能な方法に計画を修正変更して事業を継続していくことが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 2回(教育委員会・職能委員会合同) R4.2.10、2.22 両日同テーマのオンライン研修(共催：(株)大塚製薬工場) 「知っておきたい！排尿ケアの基本」 講師：株式会社大塚製薬工場 広島支店 学術担当 前田意知子 先生 受講者：80人(看護職のほか介護職2人、その他5人含む)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職の就業促進 「SOS健康フェスタ」のオンラインイベントで投稿した動画内容に、ナースセンターのポスターを使用して潜在看護職の就業促進に向けてPR。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」行事：中止 2) 「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事：中止 3) 「まちの保健室」：中止 4) 山陽小野田市「第12回SOS健康フェスタ」のオンラインイベントへ動画を投稿 (YouTubeでイベント期間中配信) 動画内容：感染予防のための手指衛生、山口県がん総合相談窓口PR・潜在看護職員就業促進PR、看護職の写真 5) 看護体験実施：実施可能な施設で実施 6) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進強化事業(宇部支部と合同) (1) 検討会 3回 (2) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 1回 R3.12.10 オンライン研修(共催：(株)大塚製薬工場) 「訪問看護を活用していただくために」 講師：こころ訪問看護ステーション 所長・管理者 野上 愛 先生 施設単位または個人で参加申し込みとし、申し込み口数：34口 アンケート：宇部支部は施設・会員多数のため、宇部興産中央病院参加者に実施し回答23人、小野田支部アンケート回答9施設67人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	支部交流会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1) 支部集会 R3.7.31(土) 出席者 14人 委任状 460人 2) 支部役員会 3回 3) 支部委員会 (1) 職能委員会・教育委員会合同委員会 2回 (2) 推薦委員会 1回 (3) 選挙管理委員会 1回 4) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席 (Web会議・書面会議含む) ① きらら交流館の今後のあり方に関するアンケート調査 ② 山陽小野田市健康づくり推進協議会 2回 ③ 宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 (書面会議2回) ④ 山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 1回 ⑤ 山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 3回 ⑥ 山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会研修広報部会 5回 ⑦ 宇部・小野田保健医療圏 圏域会議 1回 ⑧ 新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 2回 5) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」のへ投稿

長門支部事業報告

支部長 石井恵子

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
評価と今後の課題	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況により、活動を自粛した。会議等は、支部メールや書面会議で開催。感染状況に配慮しながら、行政等の事業と連携し研修会に参加していった。次年度は、コロナ禍において、いかに活動を展開していくかが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育 (1)一般教育研修 ナーシングスキル動画講義 「新型コロナからみえてくるもの ～人や自分を責めることなく看護の仕事をして行く秘訣 看護は続けることで寛容になれる仕事～」 10/14(木) 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導…オンラインによる指導 2回実施(7/1・10/28) 3病院・10グループが参加 看護研究発表会は延期。
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進に よる人々の健康及び福 祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)一般教育研修の企画…各施設で実施。 2)看護管理者会議 (1)医療安全管理者会議 … 中止 (2)長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 12/3 18名
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公 衆衛生の普及指導等 による人々の健康及び福 祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」 看護の日・看護週間で施設ごとに検討…中止 2)まちの保健室 コロナ禍で、自粛 (1)コロナワクチン接種会場で、感染対策の継続(ブレイクスルー感染の情報等)につ いて、リーフレット 1500枚 配布 3)国際助産師の日事業 「助産師まつり」… 中止 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 (1)9月に協議会 1回 書面会議 (2)研修会 長門市在宅医療介護連携推進事業と連携し参加 10/28 コロナ禍における在宅療養 事例検討会 『コロナ禍の在宅看取り』 20名 11/19 「虐待」について 10名 12/22 「こころのケア」 18名
4 会員の福祉及び相 互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会 中止
5 その他本会の目的 を達するために必要 な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 (1)7月支部集会(R3.7.21)後 1回目実施。9月 支部メールで連絡 (2)12/3 令和3年度の活動のまとめ 令和4年度の活動について 8名 2)支部委員会 3)広報活動 (1)県協会「きらめき」への投稿 10月上旬 (2)支部の広報誌「ふれあい」 7月発行 4)地域会議への出席 (1)長門市防災会議 11月 書面会議 (2)健幸なかと21推進協議会 書面会議 (3)ながと健幸百寿プロジェクト専門会議 令和4年3月22日 (4)長門市在宅医療・介護連携推進事業協議会 9月 3月 書面会議 (5)長門市地域ケア代表者会議 令和4年3月24日 (6)長門医療圏地域医療構想調整会議 9月 2月 書面会議

萩支部事業報告

支部長 後根恵美香

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携強化と課題解決に取り組む 2) 地域活動を通して地域住民の健康向上に貢献する
評価と今後の課題	研修会を予定していた時期に新型コロナウイルス感染が圏域で増加したため中止となった。その他の事業についても中止となったことが多く、コロナ禍の状況を踏まえ可能な対応を検討したが、なかなか活動ができない状況であった。 今後は、ITの活用や感染対策をとり、地域貢献できるよう内容を検討し活動できるように取り組んでいく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修 (1)教育委員・職能委員の合同研修会 1回 R4.1.22 中止 テーマ：レジリエンスについて 講師：オフィスナースナレッジ 江口智子先生
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 各施設で実施 2) まちの保健室開催 10回 中止 3) 国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 中止 4) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会1回(書面会議) (2)研修企画 中止 5) 進路相談 (1)各施設で実施 (2)まちの保健室での実施 中止 6) その他の事業 (1)地域行事での救護協力 中止
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会・親睦会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1) 支部集会 R3.7.30 出席者：13人 委任状：321人 2) 支部役員会 5回開催 3) 支部委員会 (1)教育委員会 2回開催 4) 広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業報告

支部長 田中康代

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携。 1) 地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する。 2) 臨床現場の看護実践能力の底上げを行う。
評価と今後の課題	コロナ禍ではあるが、徐々に研修会や地域のイベントへの参加を行っている。 地域の状況や、会員の要望等から、今後の活動内容や方法を検討し、実施していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1) 一般教育研修会(教育委員会主催) 非会員も含む (1) 医療に携わる者としての倫理～超高齢社会のACPを考える～ 日時：R4.3.18 18：30～ 場所：下関市生涯学習プラザ 参加者18名
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援・・・県協会主催事業への協力 2) 看護職の人材確保・就業支援 (1) 各施設での職場体験等の実施
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1) 「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1) 各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2) 「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業 合同開催(今年度中止) 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催(対面での実施は今年度中止) (2) 地域行事での救護協力(海峡マラソン10月・歴史ウォーク11月) 3) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(県委託事業として取り組み) (1) 検討会の開催3回(9・11・12月実施) (2) 研修会等の開催2回(9・12月)
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1) 会員への福利厚生 (1) 研修会開催(職能委員会主催) 1回開催(2月実施予定であったが4月へ延期)
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 支部集会 R3.7.21 18：30～関門医療センター 臨時支部集会 1月31日 15：30～ 関門医療センター (2) 支部役員会 6回 開催(5月 7月 8月 10月 11月 3月) (3) 支部委員会 ①職能委員会2回(12月 3月) ②教育委員会4回(4月9月11月3月) ③まちの保健室委員会2回(12月 3月) 2) 支部組織強化 (1) 地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災他) 令和4年度は書面での開催 (2) 広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿(7月実施) ②県協会ホームページへの投稿

令和3年度 職能委員会活動報告

I 保健師職能委員会

委員長 菊池実代

1 活動目標	<p>1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進</p>
2 委員会開催	<p>計画10回中5回</p>
3 活動内容	<p>1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 (1)保健師職能集会の開催(6/26予定⇒中止) (2)保健師職能交流会の開催(3/12 予定⇒中止) (3)保健師職能委員会の開催 (4)支部連携としての合同会議の開催 11/6実施、県職能委員6人、支部職能委員9人出席 (5)会報やホームページによる情報発信 ひたむきな保健師掲載 6・10月、新年号 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 (1)研修会の実施(6/26予定⇒中止) 3)会員増加の推進 (1)保健師職能集会や研修会の開催(職能集会中止) (2)リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 (3)会報やホームページによる情報発信(ひたむきな保健師掲載 6・10月、新年号)</p>
4 評価と今後の課題	<p>保健師職能委員会や集会・交流会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、波の合間をぬって委員会を開催した。県保健所のひっ迫した状況について、保健所に応援に入った市町保健師から情報収集したり、新型コロナウイルス感染症以外の健康対策事業に関して、現場でいろいろ工夫をしながら事業継続をしている状況を委員同士で情報共有した。ITを活用した新たな活動も増えてきた。</p> <p>こうした中、「コロナ禍における保健師活動」をテーマに、講演およびグループワークを企画し、講師調整やZOOMによる方法で計画したものの、第6波の勢いが収まらずやむなく延期とした。今後、感染状況が落ち着いた時期に、ぜひ開催したいと考えている。</p> <p>逼迫した状況の中で、関係機関の理解や協力のもと、リエゾン等多職種の協力を得ながら活動しており、健康危機のこの状況で培ったノウハウを見える化することで、人材育成にもつなげていきたい。</p> <p>なかなか収束の見通しが無い中、モチベーションを保ちよりよい保健活動ができるようにするために、職能として今できることを考えていくとともに、アフターコロナを見据えて、今後の保健活動で何が重要になってくるのか、意見交換しながらすすめていきたい</p>

令和3年度保健師職能委員会支部活動報告(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

会員数は令和4年3月31日現在

保健師会員数	令和3年度支部活動報告		新型コロナ対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取り組み	
	職能委員会の保健師数	研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取組み、連携する上で困ったこと		コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取組み
岩国 58	1	<p>【コメディカル共催研修】 日時：令和3年11月18日(木) 内容：医療介護現場における新型コロナウイルス感染症予防 講師：国立病院機構岩国医療センター 感染管理認定看護師 上成 敏爾 先生</p>	<p>例年通りの対面での健康相談の実施は難しいため、空港の利用者や献血に合わせたティッシュペーパーの配布による啓発活動を検討したが、実施には至らなかった。</p>	<p>オンラインでケースカンファレンスを行い、遠方の病院とも連携がとれるようになった。 コロナの影響で病院での面会や病院スタッフとの調整が困難だった。</p>	<p>職域での研修をオンラインで受講し、研修の機会の維持を図った。 引き続き、オンライン形式での研修があると、多くの保健師の参加機会を維持することができる。</p>	<p>教室等は感染症対策を行い、人数制限、予約制にするなどして対面で実施している。 国が示す感染対策を取りながら、密になる集団での実施を個別対応に変更した。</p>
柳井 42	1		<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の観点より、開催を中止した。今後、以前と同様に開催していくことは難しいにしてもチラシやグッズの配布等を検討したい。</p>	<p>積極的にオンラインでのウェブ会議システム等を活用し、今までと違った形での連携が図れた。</p>	<p>コロナ禍における業務量の変化等に伴い、オンラインでの研修が受けやすかった。今後もそのような機会が増えると良いと感じた。</p>	<p>コロナ禍においても顔の見える関わり大切さを忘れず、オンラインだけにとらわれることなく、基本的な感染対策の徹底と強化、感染対策に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。コロナ業務に追われる中で、新たに入庁した新人保健師さんを育てる意識も忘れず、職場全体での人材育成に努める。</p>
周南 50	1	<p>【研修会】 一般教育・職能合同研修会 日時：12月4日(土) 場所：新南陽ふれあいセンター 講師：徳山中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 原田清美先生 内容：「褥瘡ケア～創らない・悪化させない・看間違えない～」 参加者数：45人(役員含む)</p>	<p>【令和3年度計画】 回数：年8回 場所：イオンタウン周南 時間：10:00～15:00 内容：血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定、乳がん検診モデルの触診、健康相談等 令和元年12月より、特定健診、がん検診の受診率向上のための取り組みを開始 ※保健師職能委員が1人当たり2回出務する ※新型コロナ感染拡大防止のため、すべて中止した。</p>	<p>研修や会議などが中止になり、顔を合わせる機会が減ってしまった。</p>	<p>顔を合わせる機会は減ってしまったが、必要時に電話での情報交換等を行っている。 コロナ禍でも研修会や会議など実施し、顔の見える関係づくりができるとうよい。</p>	<p>密にならないために、人数制限や予約制にする、広い部屋で実施するなど感染防止対策を行い、継続実施できるような事業の見直し等を行った。</p>

	保健師会員数	職能委員会の保健師数	令和3年度支部活動報告		新型コロナウイルス対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取り組み、連携する上で困ったこと	コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取り組み	
防府	37	1	【研修会】 ・防府支部看護研修会(三職能合同研修会) 「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」 日時：令和3年6月5日 講師：山口県立総合医療センター 原田昌範氏 内容：講演、グループワーク	令和3年度は中止	在宅看護師等のご協力を得て、ワクチン接種業務が実施できた。 感染者が急増した時期は、保健所の応援派遣に出務した。	研修会や会議でのZoomの活用。	幼児健診は、ホール内に入る人数を制限するなど感染対策を実施している。がん検診も予約制にするなど、事業継続ができるように見直しを行った。
山口	100	1	集合研修、交流会等の実施予定はなし。 (12月教育委員主催で「コロナ禍の感染予防対策」がテーマの集合研修実施。)	・従来の活動は中止。中高生向きに、看護職(保・助含む)に就くための進路紹介動画作成予定。 ・R4年度も、まちの保健室自体は中止が決定。代替え案として、リーフレット作成予定。	感染者が急増した8~9月、1月~3月は、保健所業務の応援派遣に一日2~3名ずつ交代で出務した。	・研修会や会議でのZoomの活用。 ・オンラインで受講できる研修機会を活かす。	・Zoomを活用した会議 ・市民に向け、オンラインの講演やオンライン相談の実施。動画配信などに取り組んだ。 ・前半は事業の延期や中止があったが、後半は感染予防対策に留意し、人数制限、予約制にするなどの見直しを図り事業を継続実施した。
宇部	47	1	【研修会】 令和3年度 宇部支部教育・職能合同研修会 日時：令和3年7月3日(土) 10:30~11:30 内容：講演「コロナ禍における看護職のメンタルヘルス」 山口宇部医療センター精神科 小野光弘医師	保健師職能の出務なし	特になし	委員は主に宇部市役所に在籍する保健師で構成されている。所属部署が多岐にわたっているため、一堂に会しての情報共有、交流の機会が少なく、支部活動の充実等の検討機会が少ない。業務等との調整が難しく、研修等への参加者が少ない。	感染予防対策に留意しながら、行事参加を予約制にしたり、方法を見直し、内容を充実させることで短時間で有意義な活動ができるように工夫。会議や研修会の際、オンラインを活用する取り組みが増えた。
小野田	35	1	【教育委員・職能委員合同研修会】 日時：令和4年2月10日、22日 17:30~18:15 内容：知っておきたい排尿ケアの基本 受講方法：オンライン(Zoom) 講師：株式会社大塚製薬工場 広島支店 前田意知子氏 参加人数：80人	今年度は中止	保健所への応援要請があり、新型コロナウイルス感染症患者への聞き取り調査を行った。保健所業務もかなり逼迫しており、派遣当初は業務内容についての十分な説明が受けられないまま業務にあたっていたので不安やストレスが大きかった。	対面できない場合の協議や会議については、中止の選択ではなく、オンラインでも行えるようにしておくことが必要不可欠になってきていると感じる。	多機関との勉強会や会議をオンラインで実施した。慣れないことではあるが、回数を重ねていくことでスムーズに行えるようになっていく。

	保健師会員数	職能委員会の保健師数	令和3年度支部活動報告		新型コロナ対応で新たに他機関の保健師や看護職と連携した活動		コロナ禍でも保健師活動を可能とする現場における工夫や取り組み
			研修・交流会等	まちの保健室	他機関保健師や看護職と連携がうまくいった取り組み、連携する上で困ったこと	コロナ禍で保健師のネットワークおよび組織強化について工夫していること、今後必要な取り組み	
長門	15	1	コロナ禍で開催なし	コロナ禍で開催なし	研修等一部オンラインで開催することで、看護職に限らないが、会場まで来なくても参加しやすいと関係機関より好評の声があった。一方、定例会議等は感染対策のもと対面で開催を継続できている。看護協会主催の医療機関や施設の看護職が集う会議も開催され、それぞれが抱える課題や取り組みを共有できた。		
萩	27	2	【三職能合同】 (萩支部研修会と合同開催) 令和3年1月に、予定していたが、コロナの感染拡大により中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍での避難所開設の運営マニュアル等を、保健所と連携をとり作成。実際の動きについて確認を行った。 ・コロナワクチンの集団接種では、開業医の看護師と連携を取りながら実施できた。 ・コロナの予防接種で来院される、日頃受診しない層への健診の受診勧奨を実施。医師会と協力し、受診勧奨用のポスターやチラシを作成。各医療機関を周り、看護師等へ協力依頼をし、診察や窓口で声かけをお願いした。昨年度より受診率が上がっている。 	地域ケア会議等、診療所や医療機関の訪問看護師とZoom等を活用して実施している。今までは、その場に行けない場合欠席になっていた会議も、オンラインを活用すれば、多職種の方も参加が可能となり、ネットワークが広がっていくと思われる。	講演会等、講師が遠くの方でもオンラインでお願いできるようになった。今まで、旅費が払えなくて呼べなかった講師も、オンラインであれば可能になる。講師等との打ち合わせもオンラインで、スタッフも一緒に参加できる。(一緒に共有できてよい)
下関	53	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関と患者の情報を正確に共有することが難しかった。例えば、新型コロナウイルスが施設内で発生し、施設内で患者が療養することがあったが、その際施設内看護師と患者の状態を共有し、適切なタイミングで医療へつなぐことが難しかった。 ・新型コロナウイルスの患者が発生した施設等に、SICTという市内医療機関の感染対策の専門知識を有する医師や看護師で組織されたチームを派遣し、早期に感染拡大防止を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応は「災害対応」としての意識をそれぞれ受援側と応援側それぞれ持つ必要がある。受援側(担当課)は受入体制づくり等、応援側は指示事項のみだけでなく、積極的な課題発見及び解決策の提案等が必要。「本来助かる市民の命を救う」というミッションを内外で共有し、コロナ対応は総力戦という意識の醸成を行っていく。 ・日々情報が刷新されるため、患者情報や各種基準等を正確に情報共有するための方策を常に意識して探すことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン環境の活用(オンライン特定保健指導等) ・会議や教室、健診を行う際に、人数制限や消毒、マスク、手洗い、3密回避等の対策を行っている。 ・健康教室などは感染リスクが高い内容(試食やグループワーク)を避け、一部内容変更して行っている。

II 助産師職能委員会

委員長 大林幸恵

<p>1 活動目標</p>	<p>母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記活動を通じて助産師ネットワークを強化する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動
<p>2 委員会開催</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 5回(うち1回はZOOM会議) 2) 支部職能委員長合同会議 0回
<p>3 活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 2) 助産実践能力の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新人助産師研修 8回 受講者：新人助産師16人(延べ88人) 産科出血の研修はコロナ禍を考慮し講師と検討の結果演習を中止とし講義のみ半日とした。その他は、延期措置を取りながら計画通り実施した。 (2) 中堅助産師研修 4回 受講者：81人 (3) 管理者交流会：助産師出向事業で実施したため職能委員会では開催なし。 (4) CLoCMiP[®]の導入・活用の推進 3) 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 院内助産システムの推進に向け研修会などでガイドラインの周知をした。 4) 災害時の対応 防災や災害について支部合同会議の中で実施予定であったが会議の中止に伴い実施できなかった。 5) 広報活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) イベントでの助産師の普及活動：コロナ禍のため中止 ①看護の日・国際助産師の日 ②いいお産の日 (2) ホームページ等へ記事投稿：研修報告とプレコンセプションケアの記事投稿。
<p>4 評価と今後の課題</p>	<p>助産師職能委員会としてコロナウイルス感染症が収束していない中、オンラインを取り入れながら研修や委員会活動が開催できた。ただし、支部合同会議や一般市民向けの広報活動は、実施できなかった。コロナ禍で、以前のように相談する場や、コミュニティが少なくっている現状で妊産褥婦を支援していく場や方法を検討していくことが課題である。また、山口県の母子も含めた全世代対応の地域包括ケアシステムの推進のために、病院や施設と行政、県民をつなぐ仕組みを三職能で考えていくことが次年度の課題である。</p>

令和3年度 助産師職能委員会活動報告

委員長 大林 幸恵

助産師の基本理念である母子の健康な生活の実現に向けて助産師が力を結集し、変革を続けることの一助となるように5つの目標を掲げて活動した。

【令和3年度助産師職能委員会活動目標】

1. 周産期医療の現状と課題の把握
2. 助産実践能力の向上
3. 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用
4. 災害時の対応
5. 広報活動

1. 令和3年度助産師職能集会報告

令和3年11月13日（土）助産師職能集会を開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら25名が参加した。令和2年度日本看護協会通常総会、山口県看護協会助産師職能委員会の事業報告、助産師研修報告、令和3年度の事業計画について報告を行った。また、「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けて、各施設より院内助産や助産師外来、産後ケアの取り組みについての現状報告があり情報を共有した。「母子のための地域包括ケア病棟」推進を目指す助産師職能集会となった。

2. 助産実践能力の向上

1) 新人助産師研修（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として公開講座は中止）

目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

目標：新人助産師が求められる知識や技術の到達目標を完結することができる。

新人助産師同士の情報交換ができ、ネットワークを構築できる。

新人助産師の意欲、助産師観が高まり、早期離職の防止につながる。

第1回（令和3年7月10日）開講式

新人助産師15名を迎えて1年間の研修の開講式を行った。山口県内の新人助産師が集い、お互いの成長と仲間づくりに期待を寄せた。

新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院 小児科医師 松隈知恵氏	新人助産師 15人
ハイリスク新生児を持つ家族へのケア	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織氏	

新生児の様々な疾患について症状・原因治療等の説明と、新生児の特殊性をふまえた全身観察についての講義があった。山口大学医学部附属病院 周産期母子医療センターの紹介ビデオを視聴し、新生児医療現場で働くスタッフの熱い思いが心に響いてきた。また、NICUに入院される母親の心理過程を知り、さりげないサポートで子供や家族を支えるケアが大切であると学んだ。

15人の新しい助産師がともに成長していく第一歩となった。



第2回（令和3年8月7日）

CTGモニタリング判読	山口県立総合医療センター	新人助産師 14人
陣痛促進剤使用の適応と管理	総合周産期母子医療センター長 佐世正勝氏	

臨床で適切な対応をとるために、胎児心拍モニターの背景にある胎児の状態を考えながら判断することが大切であると理解できた。また、妊婦さん・赤ちゃん・自分を守るために必要なこととして「入院時には必ず胎児心拍モニターを装着すること」「胎児 well-being の評価と reassuring の確認」「妊婦さんへ配慮しつつできるだけ連続胎児心拍モニターを行うこと」の重要性について学んだ。事例と CTG 波形図を用いながらの講義で受講生から「実際の現場で判断が難しかった場面を振り返りながら学ぶことが出来た。今後の現場での判断に活かしていきたい。」と好評で、全員が期待どおり・期待以上と答え満足度の高い研修であった。

第3回（令和3年11月27日）

母乳哺育支援	山口県助産師会 桶谷式認定助産師 藤田房子氏	新人助産師 15人
--------	---------------------------	--------------

母乳分泌のメカニズムについて乳房の解剖生理から母乳の栄養学について学んだ。また、基本的な母乳の飲ませ方ややさしい搾乳の方法の講義と演習があった。演習では、ゆで卵を用いて搾乳時の指の圧加減について実体験したあと、一人ずつ搾乳の手技や手指関節の力加減・乳房に当てる手の位置など直接指導していただき、今まで行ってきた自分たちの手技を訂正することができ、正しい搾乳方法を再認識する機会となった。さらに母乳哺育の確立をスムーズにするためには出産直後からの助産師の支援が大切であり、正しい授乳ができるようにケアしていく重要性を学んだ。受講生からは、「母乳育児が押し付けにならないように利点などは安産教室にも盛り込んで、お母さん方が意思決定できるように支援したい。」「目安となるゆで卵の触る圧も分かったため、母に痛みを与えない適切な母乳サポートに積極的に活かしていきたい。」等、これからの実践にいかしたいとの感想が多く聞かれた。



第4回（令和3年12月4日）

ハイリスク妊産褥婦の病態と管理	徳山中央病院 産婦人科部長 山縣芳明氏	新人助産師 15人
-----------------	------------------------	--------------

妊娠高血圧症候群（HELLP 症候群・常位胎盤早期剥離・子癇・母体の脳出血）、胎盤の異常（前置胎盤・癒着胎盤）、流産と早産多胎、胎児発育不全、糖尿病合併妊娠、妊娠糖尿病、出生前診断など臨床でよくみる疾患を基礎から学んだ。特に妊娠高血圧症候群や切迫早産については、新人助産師も臨床で受け持つ機会も多く、「大変分かりやすかった」「重要なポイントを押さえることができ、助産師に求められる知識の再確認ができた」「症状観察と患者さんの訴えにしっかり耳を傾けることの大切さを理解した」等、今後の看護に活かしたいとの感想が多く聞かれた。

第5回（令和4年3月19日）

産科ショック（出血時の対応）	鳥取県立中央病院 産婦人科 統括部長 高橋弘幸氏	新人助産師 15人
----------------	-----------------------------	--------------

「母体死亡の現状」「産科異常出血の予防」「全身管理」について講義があり、母体急変対応の習熟の必要性を認識する内容で、助産師として必要とされる知識を学べる機会となった。今回はコロナ禍のため、ZOOM のよる研修で演習を行うことはできなかったが、受講者からは「動画・写真・図等、様々な事例も含めて教えていただきわかりやすかった」との意見があり、受講者全員が満足したと回答した。また、「出血時の対応は迅速に行うことが求められるので、今日学んだことを復習し臨床ですぐに対応できるようにしておきたい」「普段からシミュレーション等しておくことが必要だと思った」「J-CIMELS ベーシックコースいつか必ず受講します」等、意欲的な意見が多く聞かれ本日の学びが、「いつでも」「どこでも」起こりえる産科危機的出血に対応できる助産師への成長につながることを期待した。

第6回（令和4年3月26日）閉講式

事例発表会「心に残った場面」	山口県立大学別科助産専攻 准教授 中本朋子氏	新人助産師 13人
----------------	---------------------------	--------------



新人助産師研修の最終日に、この1年間で経験した「心に残った場面」の発表会を行った。様々な場面での看護を振り返り、他の病院の症例を聞くことでさらなる学びに繋げた。中本先生から一人一人に丁寧な講評を頂き、1年間の大きな成長を感じた。新人助産師らしいよい視点や助産の基本などを話され助産師の魅力と意欲を感じる発表会になった。最後に新人助産師研修の閉講式が行われた。山口県看護協会会長より、この研修を通して得られた横のつながり・助産師のネットワークを大切にしてほしいこと、また、今後の助産師としての活躍に対し期待と激励の言葉が送られた。最後にそれぞれのプリセプター・教育係からのメッセージカードを受け取り、この1年間を振り返った。



2) 中堅助産師研修

第1回（令和3年11月13日）

快適な妊娠生活のために ～切迫早産予防と腰痛解消～	助産師整体 garland オーナー 入江ちか氏	助産師 25人
------------------------------	-----------------------------	------------

妊娠分娩期におけるマイナートラブルを当たり前とせず、妊婦が身体づくりに励むことができるような指導力が身につけられる講義であった。「医療介入ではない助産ケアとしてすぐに実践できるものが学べてとても嬉しい」「外来で実際によく聞かれるマイナートラブルへの対処法が聞けてとても勉強になった」など感想がきかれ、終了時には快適な妊娠出産産後を支えていくために、妊娠さんの訴えに寄り添い、サポートできるよう励んでいきたいと語りあった。



第2回（令和3年12月11日）

妊娠から授乳期における栄養	山口県栄養士会理事 有富早苗氏	15人 (助産師13人)
---------------	-----------------	-----------------

厚生労働省の「妊婦のための食生活指針」が令和3年3月に15年ぶりに改訂された。その変更点や妊娠中の体重増加の指導目安・食事摂取基準など、たくさんの資料をもとに分かりやすい講義であった。妊娠糖尿病や妊娠高血圧症、妊娠貧血の妊婦に対する食事管理・食事指導に関して学びを深めることができた。具体例を用いた説明後に食品サンプルを試飲・試食し、自分たちの味覚を使って塩分の違いや加減について比較体験をした。妊娠中の食事指導のポイントとして、胎児を通し次世代につながる栄養の大切さを理解してもらうことや、栄養相談・指導を行う際は、一方的にならないように相手の心に寄り添うことが重要であることを学んだ。妊娠期だけでなく、女性の一生を視野に入れた栄養に関する講義もあり、多くの学びを得ることができた。受講生からは、来年もぜひ聴講したいと研修の継続を望む声があった。

新生児蘇生	山口県立総合医療センター 新生児科部長 木村献氏	19人 (助産師14人)
-------	-----------------------------	-----------------

NCPRのポイント、新生児仮死や出生後の児におけるピットフォールについて、具体的な事例を交えての講義であった。2020年版 NCPR に関しては、救命の流れに重点を置いたアルゴリズムの変更点について説明があった。また、早産児の蘇生や新生児仮死への対応、出生直後の児の観察・アセスメント・対応方

法について国家試験の問題や事例を用いて具体的な講義があり、受講者からは「NCPRの変更点について理解を深めることができた」「新生児の異常に早期に気づくことの重要性を認識した」「明日から実践に活かしていきたい」などの感想が聞かれ、実践に則した内容で、学びを深めることができた。

第3回（令和4年3月26日）

グリーンケア	山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 助教 河本恵理氏	助産師 22人
--------	--------------------------------	------------

ペリネイタル・ロスについての特徴や、母親・父親にもたらす影響について講義があった。悲嘆のプロセスを知ることができ、対象者がどのように悲しみを受け入れていくことができるのか、改めて対象者へ寄り添うことの重要性や支援の糸口を学んだ。また、ペリネイタル・ロスを経験された方への退院後のサポートや、ケアに携わる医療スタッフへのケアも必要であることを学び、受講者からは自施設のケアの参考になった、とてもよい講座なので、録画して後日配信にして職場内で講義内容を共有したい等の意見があった。

Ⅲ 看護師職能委員会 I

委員長 亀永百合子

1 活動目標	<p>1)看護実践能力の向上 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、看護力の強化と連携 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 4)広報活動・会員増加の推進 5)日本看護協会との連携</p>
2 委員会開催	<p>委員会開催回数 6回開催 看護師職能委員会 I・II 合同会議 5回開催 支部看護師職能委員合同会議 1回(紙面調査)</p>
3 活動内容	<p>1)看護実践能力の向上 ・クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動として、日本看護協会JNAラダー能力評価研修会を企画した。R3.11.26研修を会実施。ラダー導入支援を実施した2施設が導入経過及び現状の課題を発表。 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、看護力の強化と連携 (1)在宅ケア推進委員会と4職能委員会が連携し、それぞれの専門領域での課題を抽出と情報共有は、委員長による合同会議は次年度へ持ち越しとなった (2)看護師職能委員会 II との連携強化として、合同会議を5回実施。各職能委員会の活動について情報共有している。 3)支部看護師職能 I 委員との連携強化 (1)支部及び看護師職能 I 委員との合同会議は、12月に書面調査の形で支部活動の把握を行った。 4)広報活動・会員増加の推進 (1)R3.6.26の看護師職能集会(I・II 合同)は、一旦延期となりその後中止となった (2)会報「きらめき」に活動紹介投稿 5)日本看護協会との連携 (1)全国看護師職能委員長会 I (WEB)に参加、2回。 (2)地区別看護師職能委員長会 I (WEB)に参加、1回。</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)JNAラダーの活用と推進に向けた活動の継続。JNAラダー研修において、各施設の課題を抽出し、今後の活動に取り入れる。 2)地域包括ケアシステム推進に向け、3職能4委員会が連携上の課題を抽出し、今後の活動を明確にしていく。 3)コロナ禍における支部看護師職能委員会との連携強化。</p>

令和3年度 看護師職能委員会 I（病院領域）活動報告

委員長 亀永 百合子

令和3年度、看護師職能委員会 I では、看護師の質向上と地域連携の強化を目指し、5つの活動目標を掲げ活動した。

1. 看護実践能力の向上
2. 地域包括ケアシステムシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携
3. 支部看護師職能 I 委員との連携
4. 広報活動・会員増加の推進
5. 日本看護協会との連携

1. 看護実践能力の向上

昨年度に引き続き、クリニカルラダーの推進に向けての人材育成研修を実施した。JNA ラダーを導入している2施設が、JNA ラダーの導入経過及び現状の課題について報告し、その内容を踏まえグループディスカッションを行った。

また、日本看護協会主催のオンデマンド研修では、「JNA ラダーの到達状況の評価が適切にできる」ことを目的とした。

- 1) 研修日時：令和3年11月26日（金）13：00～16：30
- 2) 参加人数：22名
- 3) 研修内容：

(1) JNA ラダーの導入施設からの報告

「JNA ラダー導入後の現状と課題」

山口リハビリテーション病院 田中 裕美 氏

「JNA ラダー導入の経過」

防府リハビリテーション病院 竹重 洋子 氏

(2) グループディスカッション

- (3) 日本看護協会主催のインターネット配信研修「JNA ラダーによる評価のポイントと実際」を視聴した。

以下の4つの項目を視聴し、確認テストは各自で実施した。

- ① JNA ラダーを活用した組織における人材育成の考え方
- ② JNA ラダーを活用した看護実践力の自己評価の育成について
- ③ JNA ラダーを活用した評価者育成と評価体制の構築について
- ④ JNA ラダーを活用した OJT における評価の実際について（事例）

4) 研修後アンケートの結果

(1)アンケート回収率100%。

(2)参加者は、師長50%、主任35%、看護部長、副看護部長、副師長はそれぞれ5%だった。



(3)JNA ラダー導入施設の報告については、参加者全員が自施設で活用できると評価していた。2施設の発表は、ラダー導入の準備から導入後の経過が具体的に報告されており、参加者の課題解決に繋がる情報収集ができたと考える。

(4)ディスカッションでの意見交換は、95%の人が役立つ（大変役立つ45%、役立つ55%）と評価していた。JNA ラダー導入施設の発表者がグループに加わったことで、参加者が知りたい情報を直接確認でき、活発な意見交換ができた。

(5)研修内容の理解度については、全ての項目において約90%の人が理解できたと評価した（表参照）。そして、7割の人がJNA ラダーの研修を初めて受講していた。研修での学びを実践に活かすためには、より多くの人が受講できる機会を増やすことが必要である。

(N = 22)

	大変理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
① 人材育成の考え方	4(18%)	17(77%)	1(5%)	0	0
② 看護実践力の自己評価	3(14%)	17(77%)	2(9%)	0	0
③ 評価体制の構築	5(23%)	14(63%)	2(9%)	0	1(5%)
④ 評価の実際(事例)	6(27%)	14(63%)	1(5%)	0	1(5%)

(6)JNA ラダーの導入状況は、参加施設の70%がラダーを導入しており、今後導入予定が30%だった。参加者からは、ラダー導入後の課題解決のために研修に参加したという意見が聞かれた。自施設の課題を解決するために、熱心に情報収集しており、他施設の取り組みを参考にしたいという意欲が見られた。

5) 【ディスカッションの内容】

・各グループの意見を集約した結果、3つのカテゴリーに分けられた。1. ラダーの運用方法 2. 評価方法、3. 教育方法であった。ラダーの運用に関する内容は、自施設のラダーとJNA ラダーとのリンクの仕方、中途採用者や准看護師のラダーの運用方法、ラダー申請数を増やす仕組みなどの課題が挙げ

った。評価方法に関する内容は、評価基準の作成、評価者教育、評価のための面接時間の確保などがあり、他施設の実践内容を自施設で実践したいという意見があった。教育に関する内容は、研修時間の確保、e-ラーニングの活用方法、部下への動機づけなどが挙がっていた。コロナ禍における教育の方法について活発な意見交換があり、同じ課題を抱えている施設が多かったと感じた。ディスカッションの時間は30分間であったが、活発に意見を出し合い、有意義な意見交換の場となった。

6) 【今後の取組み】

令和3年度のJNA ラダー研修会は、昨年度の研修参加者の意見を反映して企画した。意見として、管理ラダーの実際や作成方法、OJTでの評価の実際などがあり、JNA ラダー導入施設の具体的な取組みを紹介する場を設定した。研修後のアンケート結果では、参加者の満足度は高く、実践で活かせる情報を得る機会になったといえる。

コロナ禍での研修会は、参加人数の制限があり開催が難しい状況ではあるが、今後もより多くの方が研修に参加できるように計画していきたい。そして、看護師個人の成長と組織の目的に合う人材育成の推進に繋げていきたい。

2. 地域包括ケアシステムへの推進に向け、地域における看護力の強化と連携について

- 1) 地域包括ケアの対象が高齢者主体から、子供、子育て世代、障害者などすべての住民を対象とした全世代へと拡大する現状を踏まえ、多職種間の連携を強化し、病院完結型から地域完結型を推進する必要がある。看護師職能Iでは、在宅での生活を見据えた関わりができる看護師の育成や多職種が情報共有できる仕組みづくりなどを課題に挙げている。今後は、3職能4委員会がそれぞれの専門領域での課題を抽出し、在宅ケア推進委員会と連携することで、現状把握と今後の方向性を見出すことができると考えている。

3. 支部看護師職能I委員との連携について

- 1) 令和3年度は、支部看護師職能委員との合同会議を2回計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、紙面での報告に変更した。調査票を用いて、今年度の活動内容と現状の課題について確認した。各支部の活動は、一部の支部では研修会を開催していたが、殆どの支部が予定の研修を中止していた。オンライン研修を実施した支部もあり、今後はコロナ禍で実施できる活動を模索していく必要がある。

現状の課題として、通常業務がコロナ禍以前とは違い複雑化しているため、会議や研修会の開催が難しいという意見が多かった。また、コロナ禍における2年間は、十分な活動ができていないことや、委員交代で職能委員会の活動の引き継ぎが十分できない現状であることを課題に挙げている。対策として、ZOOM会議やオンライン研修など、ITを駆使した活動を検討する必要があるが、設備の問題など多くの課題があると感じている。今後は、現状の課題を踏まえ、協会と支部が連携を強化し、対策を検討していく必要がある。

IV 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 東由利子

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3) 4 職能委員会の連携推進 4) 支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 5) 広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会9回(内3回は中止) 2) 支部看護師職能Ⅱ委員合同会議 1回(書面調査実施) 3) 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議 5回 4) 全国職能委員長会議 2回 (7月・3月) WEB会議 5) 地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回 (10月) WEB会議
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 県内19施設(17会場)で実施(8月～12月) 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能Ⅱ交流会 (3月予定は中止) 3) 4 職能委員会の連携推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 合同会議5回実施 情報交換、情報共有を行った (2) 地域包括ケアシステム構築に向けた多職種間の連携推進 委員長による合同会合は次年度に持ち越しとなった 4) 支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> (1) 支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 12月に書面調査の形で支部活動の活動把握を行った 5) 広報活動・会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) R3.6.26開催は一旦延期となり、その後中止となった (2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 会報「きらめき」2021 vol.150に活動紹介投稿
4 評価と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 介護施設への認定看護師出前講座は令和4年度も15施設を目標に開催していく。また、これまでに実施していない施設を優先して選定する。 (2) 看護師職能委員会Ⅰとは、部分合同開催を継続し、情報共有、連携を図る。 (3) 支部職能Ⅱ委員との合同会議の在り方を検討する。 (4) 看護師職能Ⅱ交流会は開催時期の検討およびテーマの工夫を検討する。 (5) 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携を図るため、4 職能委員会及び在宅ケア推進委員会との会合を早期に実施する。

令和3年度 看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長 東 由利子

○介護施設の認定看護師出前講座研修の取り組み

1. 目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2. 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3. 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、感染管理・看取りケア・褥瘡ケア・摂食嚥下等の看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4. 研修実施日

令和3年8月17日～12月14日までの17日



5. 実施内容

1) 講座開催に向けての準備

(1)実施施設の選定

- ・研修開催にむけて意向調査を実施 計204施設（老人保健施設66、老人福祉施設138）
- ・意向調査の結果33施設で開催希望あり（老人保健施設9、老人福祉施設24）
- ・選定基準に沿って19施設を決定（17会場で開催）

〈選定基準〉

- ・開催地域の公平性を確保するために山口県内の東部、中部、西部、北部から選ぶ
- ・老人保健施設（介護老人保健施設）と老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を対象とし、すべての地域で両施設が選定されるように配慮する
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を防ぐために、立ち入り制限が加わっている施設については、講座実施施設対象外とする

(2)認定看護師の選定

- ・開催施設決定後に、施設と講座内容を協議し、施設側が希望する専門分野の認定看護師を選定
- ・認定看護師を選定にあたっては、原則、講座開催希望施設の住所地である地区支部から選出し講座が終了した後も地域の施設とかかわりが持てるよう配慮した

(3)開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定した

(4)新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策

- ・介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修を開催するにあたり、研修開催の基準として山口県における研修開催の方針を確認した
- ・7月1日以降、以下の開催条件に沿って感染防止対策を講じた上で講座を開催することとした

○開催条件

- ①密閉の回避 定期的換気の実施
- ②密集の回避 収容率の50%以内
- ③密接の回避 マスク着用 講座は、講義形式とする
- ④その他の感染予防対策として体温測定や健康チェックを実施
- ⑤実施施設に対し、感染者が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力を依頼する

2) 講座開催実績

(1)講座内容及び開催日 (*は介護老人保健施設)

地域	支部	施設名	講座内容	開催日	時 間	参加人数
西部	下関	梨花の里アスピア	感染管理	8/17	14:30～15:30	13人
西部	下関	員光園	看取り	9/ 2	16:00～17:00	30人
東部	岩国	かなえ	褥瘡予防 ポジショニング	9/22	18:00～19:00	27人
北部	長門	恵光苑	摂食・嚥下	9/29	15:00～16:00	27人
東部	柳井	伊保庄	スキンケア	10/ 4	16:00～17:00	12人
北部	長門	吉祥苑	摂食・嚥下	10/13	13:00～14:00	58人
西部	下関	貴船園	看取り	10/22	14:00～15:00	8人
東部	周南	ひいらぎ くすのき苑	褥瘡	10/27	16:00～17:00	18人
中部	防府	岸津苑 サンハート香月	看取り	11/ 4	19:00～20:00	77人
中部	防府	あかつき苑防府	摂食・嚥下	11/10	15:00～16:00	30人
北部	長門	養寿苑	摂食・嚥下	11/13	17:00～18:00	17人
東部	岩国	桜の園 *	看取り	11/16	10:00～11:00	30人
中部	防府	ひごろもそう	看取り	11/17	17:30～18:30	22人
中部	山口	みのり苑 *	褥瘡	11/24	17:00～18:00	14人
北部	萩	オアシスはぎ園	看取り	11/25	14:00～15:00	15人
中部	山口	山口喜楽園	褥瘡	12/ 1	15:00～16:00	23人
西部	下関	みどり園	看取り	12/14	10:00～11:00	27人

参加者合計 448人

6. アンケート調査の結果

1) アンケート調査対象者

・出前講座受講生 ・出前講座実施施設 ・講師（認定看護師） ・看護師職能Ⅱ委員

(1)出前講座受講生を対象としたアンケート結果

①アンケート回収率

	実施施設数	参加人数	一施設当たり の参加者数	アンケート 回収数	回収率
老人保健施設	2	44	22	44	100%
老人福祉施設	17	404	23.7	368	91.0%
計	19	448	23.5	412	91.9%

②職種別参加状況

	介護職	看護職	事務職・その他	未記入	計
老人保健施設(人)	20	7	17	0	44
老人福祉施設(人)	219	61	88	0	368
計(人)	239	68	105	0	412

- ・介護職の参加は58.0%と多かった。看護職の参加は両施設とも16%台であった。
- ・その他の内訳は、ケアマネージャー、理学療法士、栄養士や調理に携わる職員等であった。

③研修の満足度について（○数字は開催会場数）

	満足	やや満足	やや不満	不満	未記入	計
褥瘡 スキンケア ⑤	77	16	0	0	0	93
摂食・嚥下 ④	80	26	0	0	0	106
看取り ⑦	152	48	0	0	0	200
感染対策 ①	12	1	0	0	0	13
合計	321人	91人	0	0	0	412人

- ・研修内容については、満足できた、やや満足できたと答えた人が全員であった。

④研修が今後の活動の中で実践できるか

	できそう	ややできそう	あまりできそうでない	できそうにない	未記入	計
褥瘡 スキンケア ⑤	59	33	1	0	0	93
摂食・嚥下 ④	74	31	1	0	0	106
看取り ⑦	136	55	6	0	3	200
感染対策 ①	13	0	0	0	0	13
合計	282人	119人	8人	0	3人	412人

- ・ほとんどの参加者は研修内容が「実践できる」「ややできる」と回答している。
- ・あまりできそうにないと回答したのはその他の職種が多かったが、介護職員も数名あった。

《受講生からの声》（抜粋）

- ・コロナ禍での研修はとてもありがたかったです。
- ・正しい知識、情報共有が大切であると理解できた。
- ・外部研修が極端に少ない状況の中、たくさんの学びがあった。
- ・看取りの具体的な研修は初めてだったのでとても勉強になった。
- ・事前の質問にわかりやすく答えていただいたのでとても参考になった。



(2)出前講座実施施設を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・専門家の講義を聞けるととても良い機会だと思います。
- ・今後も是非活用させていただきたい。（多数意見）
- ・現状では外部での研修機会が極端に少ない状況です。出向いてもらい貴重な講座を開いてもらってありがとうございました。

(3)講師（認定看護師）を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・地域での活動として出前講座はとても良いと思います。
- ・是非また協力させてください。（全員）

(4)看護師職能委員を対象としたアンケート結果（抜粋）

- ・講師の中には、講座の対象者の認識が不十分と思われたものもあり、講師依頼の際には、講座の対象者について周知することが必要であった。
- ・各施設とも感染対策に問題はなかった。
- ・開催時期は11月には終了するように計画した方がよい。（交通事情の安全面考慮）

7. 評価

1) 活動の振り返り・課題

- (1)今年度はコロナ禍ではあったが、予定した19施設を17会場で実施することができた。開催施設においては、満足度の高い評価であった。
- (2)新型コロナウイルス感染対策のため、3密を避けた机や椅子の配置、消毒や健康チェック、室内換気等に配慮した講座を実施した。施設側も感染対策には十分に配慮されており、協働して室内環境を整えることができた。
- (3)今年度は勤務時間内に講座を組んでいる施設が増えた。夕方からの開催は、講座開催関係者には交通事情の安全面考慮も必要である。開催時期は7月～11月で計画を考えたい。
- (4)高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、医療介護連携による適切なサービスを提供し続けることが必要である。介護職、看護職の質の向上を図るために、次年度はこれまで実施していない施設を最優先に選定していきたい。そのためには、施設に対し認定看護師出前講座の周知を図ることが必要である。

出前講座認定看護師派遣協力施設 計12施設

国立病院機構岩国医療センター、周東総合病院、徳山中央病院、徳山中央病院附属訪問看護ステーション、山口県立総合医療センター、山口赤十字病院、訪問看護おかふじ、小郡第一総合病院、下関市立市民病院、国立病院機構関門医療センター、安岡病院、ケアタウン山の田

令和3年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会

委員長 宇都宮淑子

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会開催 (1)日時：【1日目】R3.9.9(木)9：50～16：00 【2日目】R3.9.10(金)10：00～16：00 【3日目】R3.9.24(金)10：00～16：00 (2)講師：公益社団法人日本看護協会労働政策部看護労働課 奥村元子氏 関西医科大学看護学部看護学研究科 三木明子氏 銀座社会保険労務士法人社会保険労務士 吉國智彦氏 (3)内容：講義(Zoomによるオンラインの講義および対面講義) GW：自施設の課題抽出 (4)対象：看護管理者(主任以上) (5)参加者：29人(トップマネージャー3人、看護師長14人、副看護師長等17人)</p> <p>2)病院等へのアドバイザー派遣による相談会 (1)相談希望病院の応募を11月30日まで実施 (2)相談件数0</p> <p>3)セカンドキャリア支援研修会開催 (1)日時：R3.12.14(火)13：30～16：00 (2)講師：銀座社会保険労務士法人代表社員 吉国智彦氏 安岡病院副院長兼看護部長 古本たつ子氏 山口リハビリテーション病院 三輪絹代氏 (3)内容：講義および病院の取り組み発表 セカンドキャリア人材登録制度についての案内 (4)対象：山口県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わない) (5)参加者：16人(就業中15人、未就業1人)</p> <p>4)セカンドキャリア支援事業 (1)人材登録制度の要項作成 (2)広報：要項およびスキームを逡送便で会員施設に配布 (3)今年度登録者：4人</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)ヘルシーワークプレイス研修は、GWで情報交換することで学びに振り返りや思考方法を考える機会となったが、講義とGWの間隔を検討したい。</p> <p>2)アドバイザー派遣は相談件数0件であった。次年度は廃止とする。</p> <p>3)セカンドキャリア支援事業は、今年度事業で形式が完成した。次年度から実施していくこととする。</p>

2 看護制度委員会

委員長 向井美智子

1 活動目標	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題に取り組む</p> <p>2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けた支援方法を検討する</p> <p>3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る</p>
--------	--

2 委員会開催	5回
3 活動内容	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題に取り組む。</p> <p>(1)前年度に実施した看護教員へのアンケート結果(衛生看護科・高等教育機関は除く)から得られた課題解決に向けた意見交換会は、次年度以降に開催することとし検討中。</p> <p>(2)「看護師基礎教育を考える会」の開催 R3.12.18 参加者：34人 看護師基礎教育4年制化を推進していくために、先駆的に4年制に移行した看護学校講師による研修会を開催し機運を高めた。</p> <p>2)准看護師への支援</p> <p>(1)准看護師スキルアップ研修会の開催 R3.7.31 参加者：25人 県内COVID-19感染症クラスター発生とその対応を踏まえ、感染管理について研修を行った。</p> <p>(2)准看護師養成所教員へのアンケートを12月に実施し、学生の進学に影響を及ぼす要因を探った。その結果について、教員への共有方法を検討中。</p> <p>3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る</p> <p>(1)「認定看護師の意見交換会」を次年度開催に向けて対象や開催方法を検討中。</p> <p>4)委員会活動報告 県協会報「きらめき」2回</p>
4 評価と今後の課題	<p>1)看護師基礎教育4年制化の意義や必要性を浸透させるための会を開催し、動機づけを行うことができた。</p> <p>2)准看護師スキルアップ研修の受講者のうち3割強が看護師取得のための進学について迷っていることが分かった。進学支援を推進していくことが重要である。</p> <p>3)認定看護師が地域活動へ貢献し活躍の場を広げるための支援や、交流会・研修会をとおして連携を深めるとともに、スキルアップを図るための支援を行う。</p>

3 教育委員会

委員長 上野由紀恵

1 活動目標	<p>1)令和3年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>2)会員のニーズおよび令和3年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和4年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>																				
2 委員会開催	計画9回中8回開催																				
3 活動内容	<p>1)教育研修会の運営・実施状況</p> <p>(1)看護実践能力養成研修会 実施研修数 23コマ/34コマ(中止11研修) 受講者総数 1313人/23コマ</p> <table border="0"> <tr> <td>① 新人研修</td> <td>1/1回</td> <td>⑥ 看護実践力(JNAラダー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 看護研究</td> <td>1/2回</td> <td>ア ニーズをとらえる力</td> <td>5/5回</td> </tr> <tr> <td>③ 看護管理</td> <td>3/5回</td> <td>イ ケアする力</td> <td>7/10回</td> </tr> <tr> <td>④ 自己教育関連</td> <td>3/5回</td> <td>ウ 協働する力</td> <td>2/3回</td> </tr> <tr> <td>⑤ アンケート枠</td> <td>0/1回</td> <td>エ 意思決定を支える力</td> <td>1/2回</td> </tr> </table> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、受講者数の上限は90人で実施した。また、研修前の健康チェック、座席調整、換気、終了後の消毒など、受講者の協力を得ながら研修を運営した。</p> <p>実施した23研修中、DVD研修1、オンライン研修14で開催した。オンライン研修は、会場以外に自宅や施設単位でもオンラインで参加できる方法を試みた。</p>	① 新人研修	1/1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)		② 看護研究	1/2回	ア ニーズをとらえる力	5/5回	③ 看護管理	3/5回	イ ケアする力	7/10回	④ 自己教育関連	3/5回	ウ 協働する力	2/3回	⑤ アンケート枠	0/1回	エ 意思決定を支える力	1/2回
① 新人研修	1/1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)																			
② 看護研究	1/2回	ア ニーズをとらえる力	5/5回																		
③ 看護管理	3/5回	イ ケアする力	7/10回																		
④ 自己教育関連	3/5回	ウ 協働する力	2/3回																		
⑤ アンケート枠	0/1回	エ 意思決定を支える力	1/2回																		

	<p>(2)次年度研修計画立案 今年度中止となった研修を含めて、内容や形態を考慮し企画した。 看護を取り巻く社会的課題に対応できるよう柔軟に研修計画を作成した。特に、中堅看護師をサポートするための研修や、コロナ禍や災害など、不測の事態への対応に関する研修を増やした。</p> <p>(3)関係する委員会との連携 関係委員会から提案された研修で、昨年度から中止となっていた研修は実施した。他の委員会から研修計画案の提案を募ってはいないが、必要時に関係委員会間での情報交換を行い、要望があれば次年度の教育計画につなげていく。</p>
4 評価と今後の課題	<p>1) コロナ禍における今後の研修運営について 感染拡大防止対策を取り、安全な研修の在り方や、オンライン研修の有意義な活用と体制・設備の検討。</p> <p>2) 受講者ニーズに沿ったもの、トピックス的な内容を考慮した魅力的な研修企画。</p>

4 学会委員会

委員長 田中周平

1 活動目標	実践に根差した看護研究活動の振興を図る。
2 委員会開催	6回(R3.4.10、7.24、10.30、12.11、R4.2.21、3.5開催)
3 活動内容	<p>1) 第21回山口県看護研究学会の開催 本年度は感染状況を考慮しながら対面開催を基本として計画した。 ただし、一般演題のみとし、特別講演は行わないこととした。 (1)開催日時：R4.3.5(土) 9：15～12：00 (2)場 所：山口県看護研修会館 (3)内 容：対面による口演発表 学会テーマ：一人ひとりの力でつなぐ看護の追究 口演発表演題 11題 参加者 計40人 一般参加27人 学会長、学会委員、座長等事務局等運営者 13人</p> <p>2) 第21回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 投稿募集、応募原稿の査読、選考を行い、第21回山口県看護研究学会抄録集を発行した。</p> <p>3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討について 第20回山口県看護研究学会の誌上発表について振り返りを行った。 第21回山口県看護研究学会当日に、実施内容等について振り返りを行った。</p>
4 評価と今後の課題	<p>第21回山口県看護研究学会は、参加人数の制限等の感染対策を徹底することで2年ぶりに対面での開催となった。しかし、直前での山口県内の感染拡大により当初の予定よりもさらに参加人数は減少した。小規模での開催であったため時間配分等の運営は臨機応変に対応でき、大きな問題もなく学会を終えることができた。</p> <p>来年度以降も対面開催を基本とするが、今後の感染状況によっては誌上発表やハイブリット方式等の別の方法も検討する。特に、代案である遠隔での開催を行うために必要となる各種設備の整備やシステム作りは急務である。</p>

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 原田美佐

1 活動目標	1)改正カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 2)令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 3)令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 4)令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルおよびファーストレベル受講者選考に係る小論文の課題の検討 5)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 6)令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援 7)認定看護管理者教育機関認定更新に関する確認と共有 8)県協会会報「きらめき」への認定看護管理者教育運営委員会の活動報告と原稿掲載
4 評価と今後の課題	1)評価 計画通り、円滑な運営と教育評価を行うことができた。 2)今後の課題 ・認定看護管理者教育機関として、教育の質の維持・向上にむけて、ハード面およびソフト面を整備していく。 ・新型コロナウイルス感染症の蔓延状況におけるオンライン研修の充実を図る。

6 広報委員会

委員長 加藤由紀恵

1 活動目標	1)県内の様々な取り組みを情報発信する。 2)看護協会の認知度を高める。 3)協会や県内各施設の取り組みに対し、時宜を得た広報活動を行う。 4)会員が興味ある内容を掲載できるよう情報収集し、工夫をはかる。
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)山口県看護協会会報誌「きらめき」年に3回発行 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号150号、151号152号) (2)実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討 ②原稿依頼 ③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討 ⑤看護協会会員特典等の情報収集 2)ホームページの充実 ブログの更新 3)県内各施設の新たな取り組み等の情報収集
4 評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症が続く中、今年度も新メンバーを加え、委員会を定期に開催することができた。今年度の編集においては、コロナ禍において職能団体として看護職にどのような支援を行ったか、今後どのような支援を行っていく必要があるのかに重点を置いた。また、写真などを増やして、さらに見やすい誌面を目指した。その時々々の状況に応じた内容を検討しながら活動目標にもある協会員増員のために、会員が必要とする内容を掲載できるよう紙面の充実を意識し、また各病院・施設・会員がアピールで

	<p>きるような表紙、ユニフォームの紹介など、楽しい広報誌を目指した。</p> <p>ホームページについては、ホームページへのアクセス数を増加させるためにも、画面を見る人の立場に立った画面展開を意識し「きらめき」内でアピールしていく。</p>
--	---

7 推薦委員会

委員長 山時久美子

1 活動目標	<p>1) 役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦</p> <p>2) 職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦</p> <p>3) 日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦</p>
2 委員会開催	2回
3 活動内容	<p>1) 第1回推薦委員会 書面開催</p> <p>(1) 推薦者の確認</p> <p>2) 第2回推薦委員会(県推薦委員会・支部推薦委員会合同会議)</p> <p>(1) 推薦委員の任務について</p> <p>(2) 委員長選出</p> <p>(3) 職能ごとに次期候補者の検討</p> <p>(4) 各施設への電話連絡</p> <p>(5) 各職能より候補選出進捗状況の確認</p> <p>(6) 未決定候補者の再検討</p>
4 今後の課題等	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の中で、委員同士が打合せを行うことも困難であった。また、委員就任依頼先の看護管理者も繁忙を極めている中での調整は、先方にとっても、推薦委員にとっても負担が大きかった。合同会議の開催時期については、見直しが必要ではないかと感じた。</p>

8 医療安全推進委員会

委員長 笹尾千春

1 活動目標	<p>1) 医療安全管理者の養成</p> <p>2) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>3) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p>
2 委員会開催	7回
3 活動内容	<p>1) 医療安全管理者の養成</p> <p>令和3年度医療安全管理者養成研修の企画・運営・実施方法の検討・援助 医療安全管理者養成研修(7日間45時間の研修) 7日(R.3.8.20～ R3.11.13) 受講者57人 修了者57人</p> <p>新型コロナ感染症拡大防止のため県外の講師とZOOMを活用したWeb研修を実施。 医療安全管理者養成研修フォローアップの企画 R4.3.11 受講者34人</p> <p>2) 医療安全管理者の資質向上の推進</p> <p>(1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 R4.3.11 受講者：36人</p> <p>(2) 医療安全管理者情報交換会の開催 R3.12.10 受講者：25人</p> <p>3) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援</p> <p>圏域代表者との交流会を実施(R3.8.6)</p> <p>圏域活動の現状についての情報交換や医療安全に関わる意見交換を行った。</p>

	<p>4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進</p> <p>(1) 県協会誌「きらめき」に医療安全情報を掲載 3回</p> <p>(2) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援</p> <p>(3) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の配布</p>
4 評価と今後の課題	<p>昨年度から引き続きCOVID-19感染症に対応する医療安全管理者養成研修の実施に向けて具体的な検討を行い、今年度は、ZOOMを活用したWeb研修も活用し、全日程を終了した。今年度は、医療安全管理者情報交換会やスキルアップ研修も開催でき、医療安全管理者の資質向上につながったと考える。また、昨年度は中止した圏域代表者との交流会も開催することができた。今後も、医療安全に関わる看護職のネットワーク活動の現状把握と今後の活動の支援をすすめていきたいと考える。</p>

9 災害支援委員会

委員長 垣内真理子

1 活動目標	<p>1) 災害支援活動体制の整備・充実</p> <p>2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援</p> <p>3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上</p>
2 委員会開催	5回
3 活動内容	<p>1) 委員会内容</p> <p>(1) 災害支援ナース育成研修の内容検討</p> <p>(2) 災害支援ナースフォローアップ研修の内容検討</p> <p>(3) 2121年山口県総合防災訓練Web参加について</p> <p>(4) 災害支援ナース育成研修実務編の企画、準備</p> <p>2) 研修開催内容</p> <p>(1) 災害支援ナース育成研修 基礎編 2日間(オンデマンド研修) 9月3、4日開催 「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」参加者42人</p> <p>(2) 災害支援ナース育成研修 実務編 2日間の実施について検討 令和4年2月4、5日予定⇒中止</p> <p>(3) 災害支援ナースフォローアップ研修 10月12日開催 「感染症を意識した避難所での支援活動～実践編～」参加者47人</p> <p>3) その他</p> <p>(1) 2121年山口県総合防災訓練Web開催による展示 7月から山口県ホームページで公開 2022年山口県総合防災訓練Web展示の準備</p>
4 評価と今後の課題	<p>1) 評価</p> <p>(1) 2年ぶりとなる災害支援ナース育成研修(基礎編)を開催した。 新設講義「災害支援ナースの活動報告」は災害支援ナース育成指導者による講義とし、明解な内容で好評を得た。受講者の約9割が実務編への参加意思を示したが、オミクロン株急拡大により中止となり、災害支援ナース登録者の育成に繋がらなかった。</p> <p>(2) 前年度延期となった災害支援ナースフォローアップ研修を開催した。 感染症対策と今夏の豪雨災害をリンクさせ、避難所支援活動を考える企画とした。災害支援ナース育成指導者や感染管理認定看護師を講師とし、グループディスカッション形式で活発な意見が得られた。</p> <p>2) 課題</p> <p>近年甚大な自然災害が多発しているが、感染症が障壁となり派遣活動は必ずしも多くはない。災害支援ナースの知識・資質の維持と向上を目標に、災害支援ナース育成指導者の助言を得ながら効果的な委員会活動に取り組む必要がある。</p>

研修会は、災害支援ナース新規登録に繋がる計画とし、フォローアップ体制についても講義形式による参加者数の制限緩和を検討しながら拡充を図っていきたい。

10 在宅ケア推進委員会

委員長 西島陽子

1 活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	計画4回中5回
3 活動内容	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み (1)在宅ケアにおける看護の機能強化への方向性を探るための現状把握 ①令和2年度に実施した「地域における看護の機能強化のための連携について」のアンケート結果から見えてきた、円滑な看護の連携を妨げている要因と思われること、キーワード等を抽出し、カテゴリー別に絞り込みを行った。 ②現状と課題を追究するために、アンケート調査を実施することとし、調査票項目の具体的な検討等企画にむけての検討を行った。 (2)情報提供、意見交換を目的とした三職能四委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会の委員長との会議(2回程度)の開催に向けての具体的な計画立案 感染症拡大の影響により調整不可能となり、次年度に延期することとした。 2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進 (1)訪問看護育成支援事業の実施状況等の情報収集
4 評価と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に実施した「地域における看護の機能強化のための連携について」のアンケートの調査結果を検討し、4つのカテゴリーにわけて整理し、地域での看護連携上の課題を抽出した。 ・抽出した課題を検討し、目標「看護の連携」に必要なキーワードを抽出した。 ・今後このキーワードをもとに三職能四委員会の現状の活動の中での課題を検討しすり合わせを行うため日程調整の検討を行った。 ・看護職連携推進研修検討会の委員長の会議においてアンケートから見えた課題の提供や情報交換を行うにあたり情報交換する内容の検討を行った。 ・職能委員会、検討会との情報交換により得られた情報や意見もふまえ、「地域における看護の連携」についての課題を探るための効果的な調査票の設問案の検討を計画した。 ・ガントチャートにて、委員会の開催時期や各委員会との会議予定を立案したがコロナ感染症拡大にて委員会の開催ができず中間報告から進展できなかった。次年度に課題の検討をしていきたい。

「訪問看護ステーションあぶ」～その役割を終えて～

山口県看護協会「訪問看護ステーションあぶ」は、阿武町や地域からの要望を受けて平成15年4月に萩・阿武地域初の訪問看護ステーションとして阿武町奈古に開設した。地域住民の皆さまが、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、阿武町・萩市を中心に19年間にわたり訪問看護事業を実施し、延べ7,424人の利用者の皆様の在宅療養を支援してきた。

しかしながら、人口減少による対象者の減少や、萩市内に訪問看護ステーションが複数設置され訪問看護の供給が充実する一方、看護職員の確保が困難となり、「訪問看護ステーションあぶ」を閉所するに至った。令和4年3月31日に閉所式を行い、阿武町長花田様と西生会長が事業所の看板に幕を下ろし、訪問看護ステーションあぶの役割を終了した。

事業実績

項目 \ 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
新規利用者数	22	25	22	38	30	31	20
利用者実数	101	204	231	370	482	450	359
延訪問回数	548	1,293	1,124	1,832	2,264	2,164	1,754
利用終了者数	11	15	24	21	32	34	25

項目 \ 年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
新規利用者数	21	32	30	32	32	37	22
利用者実数	341	384	431	487	411	396	405
延訪問回数	1,696	2,019	2,443	2,349	2,457	2,074	1,837
利用終了者数	20	23	28	30	42	31	23

項目 \ 年度	H29	H30	H31・R1	R2	R3	合計
新規利用者数	45	27	24	30	20	540
利用者実数	417	487	462	538	468	7,424
延訪問回数	2,168	2,416	2,043	2,614	2,296	37,391
利用終了者数	33	33	20	26	66	537



新型コロナウイルス感染症の拡大への対応

1 看護職の確保

県から「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」及び「新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業」を受託し、潜在看護師の積極的な掘り起こし、技術演習、就業支援を実施した。また、県と連携し「新型コロナウイルス感染症対策看護職員派遣制度」にて、医療機関・宿泊療養施設への看護職員派遣を調整し、派遣に繋げた。

2 看護職への支援

令和2年度に実施した「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状調査」の結果をもとに、看護職へのメンタルヘルスケアの支援を県へ要望し、令和3年度は「看護職員メンタルサポート事業」を県から受託した。メンタルサポートに関するニーズ調査、公認心理師によるメンタルヘルス相談、看護管理者等に対するメンタルヘルス研修会の開催、出張による個別相談会及び院内研修を実施した。また、第3回目の現状調査を実施し、これまでの調査項目に加え、病院間での看護職員の応援が必要になった場合の派遣の意向等を調査した。

「新型コロナウイルス感染症対応看護管理者会議」を開催し、情報提供と地域内での連携・協力体制を考える意見交換を実施した。また、感染管理認定看護師スキルアップ研修会、精神科及び療養型医療機関等を対象にした研修会等を開催した。

3 本協会における感染対策

山口県看護協会新型コロナウイルス感染対策本部会議を開催し、感染拡大状況による研修等の開催基準の設定、基準に沿った研修や会議の開催方針、新型コロナウイルス感染対策マニュアルの見直し等を協議した。また、オンライン研修の体制を整備し、進めた。

4 行政・関係団体との連携

○山口県新型コロナウイルス感染症関連会議への出席

1) 山口県新型コロナウイルス感染症専門家会議

開催日	回	内 容
令和3年8月6日	第1回	(1) 4月上旬以降の新型コロナウイルス感染拡大と対応状況今後の対応の方向性について (2) 「第4波」を踏まえた今後の医療提供体制の見直し (3) ワクチン接種体制
令和4年1月12日	第2回	(1) オミクロン株感染拡大に伴う医療提供体制の検討について

2) ワクチン接種対策会議

開催日	回	内 容	備 考
令和3年4月27日	第1回	(1) ワクチンの配分状況と現在の接種状況 (2) 各市町の先行実施の取り組み状況 (3) 今後のスケジュール等	【出席者】 山口県市長会会長、山口県町会会長、山口県医師会会長、山口県歯科医師会会長、山口県薬剤師会会長、山口県
令和3年6月17日	第2回	(1) ワクチン接種の更なる加速化 (2) 本県独自の優先接種設定 (3) 接種に係る今後の目標	

令和3年10月7日	第3回	(1) 本県の接種状況 (2) ワクチンの確保状況 (3) 追加接種（3回目接種）の体制確保	看護協会会長、山口県病院協会会長、山口県薬業卸協会会長、知事、健康福祉部長
令和3年11月22日	第4回 書面	(1) 新型コロナワクチン3回目接種の開始について	
令和4年2月3日	第5回	(1) 3回目接種について (2) 小児（5～11歳）向け接種について	

3) その他の会議・研修等

開催日	会議名	備考
令和3年5月21日	新型コロナウイルス感染拡大に備えた山口・防府圏域会議	(Web)
令和3年8月30日	宿泊療養施設運営に係る調整会議	
令和4年1月13日	新型コロナウイルス感染症対策関係機関連絡会議	
令和4年1月13日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（山口、宇部、萩圏域）	(Web)
令和4年1月14日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（長門圏域）	(Web)
令和4年1月17日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（周南圏域）	(Web)
令和4年1月17日	新型コロナウイルス感染症対策圏域会議（柳井圏域）	(Web)
令和4年1月18日	山口健康福祉センター防府支所会議	
令和4年2月16日	新型コロナウイルス感染症対策講演会	(Web)
令和4年2月27日	新型コロナウイルス感染症医療機関・社会福祉施設クラスター対策講演会	(Web)
令和4年3月4日	柳井圏域で発生したクラスター対応のための看護職員の派遣等に係る会議	(Web)
令和4年3月22日	新型コロナウイルス感染症のクラスター対策研修会	(Web)

5 緊急的な対応

1) 自宅療養者の健康観察業務

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、保健所が行う健康管理のうち、山口県看護協会の看護職員が自宅療養者の健康観察を行うことにより、自宅療養体制の確保を図ることを目的とする。

(2) 開始時期

令和4年1月10日 ～ 岩国環境保健所管内

令和4年1月20日 ～ 山口環境保健所防府支所管内

令和4年1月30日 ～ 山口環境保健所管内

(3) 業務内容

自宅療養者に電話による健康観察を実施し YCISS に入力

2) 保健所への看護職員応援

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う保健所の緊急的な人材ニーズに対応できるよう、看護協会が潜在看護職員を雇用し、保健所業務を支援することで、保健所機能の維持を図ることを目的とする。

(2) 開始時期

令和4年1月14日 ～ 岩国環境保健所
令和4年1月19日 ～ 周南環境保健所
令和4年1月20日 ～ 柳井環境保健所・山口環境保健所防府支所
令和4年1月23日 ～ 山口環境保健所
令和4年1月29日 ～ 宇部環境保健所
令和4年1月31日 ～ 萩環境保健所

(3) 業務内容

積極的疫学調査の補助業務・自宅療養者の健康観察等

3) 日本看護協会委託事業（令和3年12月20日～令和5年3月31日）

新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業

(1) 広域人材調整事業

感染が拡大する地域において、県内で人材が確保できない場合、他県へ応援派遣を要請する仕組みの体制整備

【事業内容】

新型コロナウイルス感染症に対応する看護職員の人材不足により、県内での医療機関等の人材調整で対応が困難な場合、国の要請を受け、都道府県間で広域に、緊急的な看護職員の派遣調整を行う。

①派遣元県協会の役割

- ・人材調整に必要なニーズの把握
- ・応援派遣者リストを活用した派遣元医療機関等への派遣調整
- ・潜在看護師等の臨時的な雇用による派遣調整
- ・派遣元医療機関と派遣先医療機関等との出向契約の締結状況の把握

②派遣要請県の県協会の役割

- ・都道府県対策本部への参画と医療機関等のニーズの把握
- ・派遣元県協会への派遣決定連絡
- ・派遣先医療機関等との派遣調整

(2) 新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業

【事業内容】

ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症対応に従事した潜在看護師等に対するスキルアップ研修を実施する。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業

【事業内容】

新型コロナウイルス感染症に関する業務に就業する看護職からの離職に関する相談窓口を設置し、離職相談を行う。

時系列でみる新型コロナウイルス感染症の動向と山口県看護協会の取り組み（令和3年度）

月	日	感染症関連の動向(◆山口県)	日	山口県看護協会の対応
4月	5日	大阪・兵庫・宮城の3府県に「まん延防止等重点措置」が適用開始	1日	「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル Ver.2」の一部改正
	12日	東京・京都・沖縄の3都府県に「まん延防止等重点措置」を拡大	19日	県内クラスター発生にて宿泊療養施設の入所者が増加、4/19～26の期間、協力病院に看護師派遣を依頼
	17日	◆山口県内で新たに37人が新型コロナウイルスに感染したと発表	24日	「入所施設における新型コロナウイルス感染症対応研修会」開催 以降、5/14、5/20開催
	25日	新型コロナウイルス変異株の流行等による感染拡大により東京都・大阪府・京都府・兵庫県に3回目となる緊急事態宣言が発出	28日	未就業看護職対象に宿泊療養施設の就業について説明会実施
	30日	中国地方知事会がメッセージ「大型連休中は県境をまたいだ不要不急の移動を控え、感染防止策を徹底」	30日	岩国市内に開設予定の宿泊療養施設の看護師募集。
5月	7日	◆知事が県民に「宣言の期間中は往来を控え、予定は先に延ばしてほしい」と要請。	13日	岩国市内宿泊療養施設の看護職員募集について説明会開催
	8日	◆県は防府市医療機関で、32件目のクラスター発生と認定。	16日	岩国市内宿泊療養施設が開設。本協会より看護師派遣
	12日	緊急事態宣言を5月31日まで延長。5月12日からは福岡県と愛知県を加えた6都府県に拡大。	29日	「新型コロナウイルス感染症対応研修(応援派遣看護職対象)」を開催
	16日	北海道・岡山・広島に31日まで緊急事態宣言が発出 ◆山口県は政府分科会が示す7つの指標の内3つで最も深刻な「ステージ4(感染爆発)の基準を超える」		
	23日	沖縄県に緊急事態宣言発出		
	24日	東京と大阪に政府の大規模ワクチン接種センターが開設され接種が始まる		
6月	1日	9都道府県の緊急事態宣言を6月20日まで延長	1日	県より「新型コロナウイルスワクチン接種に関する潜在看護師確保事業」を受託
	21日	沖縄県を除く9都道府県の緊急事態宣言解除	4日	日本看護協会よりの「新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種業務への 就業協力のお願い」ホームページ掲載
			5日	「精神科及び療養型医療機関等における新型コロナウイルス感染症対応研修会」開催
			6日・26日	県主催「歯科医師を対象としたワクチン接種研修会」において本協会は実技を担当
			22日	第11回対策本部会議：研修会等の開催について検討 感染対策マニュアルの会場毎の定員見直しを実施
7月	12日	東京都に4回目の緊急事態宣言発出(8月22日まで)沖縄県は継続		日本看護協会より新型コロナウイルス感染症に係る企業からの寄付による購入物品を都道府県看護協会を介して配布
	23日	東京五輪開幕	6～20日	新型コロナウイルス感染症拡大の影響について第3回現状調査
	29日	全国の新規感染者数が1万人を超える(10,699人)	28日	「令和3年度第1回新型コロナウイルス感染症対応看護管理者会議」を開催

月	日	感染症関連の動向(◆山口県)	日	山口県看護協会の対応
	30日	◆山口県の新規感染者数27人、知事が県外との往来自粛を要請		
8月	2日	緊急事態宣言、東京都・沖縄県31日まで延長、新たに神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府に発出。5道府県にまん延防止等重点措置を適用	1~16日	看護職員メンタルサポート事業(県委託) 「看護職員のメンタルサポート体制やニーズ・課題について」の調査
	5日	世界の累積感染者数2億人を超える	7日	「コロナ禍の看護職を支援するメンタルヘルス相談」チラシを作成、配布
	6日	日本の累計感染者数が100万人を超える	19日	看護職員メンタルサポート事業(県委託) 公認心理師等による個別メンタルヘルス相談の開始
	8日	まん延防止等重点措置の対象に8県を追加	17日~	県内感染者数増加により、病院及び宿泊療養施設への派遣調整を開始
	13日	全国の新規感染者数が2万人を超える	24日	第12回対策本部会議：感染拡大の状況を踏まえて研修会等の開催について協議
	19日	◆山口県新規感染者数119人過去最多	30日	新型コロナウイルス感染者数増加に対応する医師支援体制等について会議に出席 (山口県、医師会、病院協会、看護協会)
	20日	緊急事態宣言7府県を追加、まん延防止等重点措置の対象に10県を追加して9月12日まで延長		
	24日	東京パラリンピック開幕		
	25日	◆山口県は県内の感染状況を「ステージ4(感染爆発)」に引き上げる		
27日	緊急事態宣言8道県を追加、まん延防止等重点措置の対象に4県を追加、9月12日までの期間。			
9月		全国の累計感染者数150万人を超える	4~5日	新設の山口市内宿泊療養施設に本協会より看護師派遣、県ナースセンターより潜在看護師の紹介
	1日	◆山口県の累計感染者数5,000人を超える	28日	第13回対策本部会議：会議・研修会等の開催について検討
		◆山口県セミナーパークに県内4カ所目の宿泊療養施設を開設		
	13日	東京・大阪など19都道府県で緊急事態宣言を延長		
	18日	厚労省が抗体カクテル療法を在宅でも認める方針に変更		
30日	10/1より緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全国で解除			
10月			1日	山口県から「新型コロナウイルス感染症が宿泊療養を行う場合の患者の健康管理等を行う看護職員の確保・配置・研修等の総合調整に係る業務」を受託
			15日	新設宿泊療養施設の潜在看護師を対象とした就職説明会を開催 「入所施設向け新型コロナウイルス感染症対応研修」開催
			19日	メンタルサポート事業 公認心理師による出張院内研修及び個別相談を開始
11月	1日	◆県内5カ所目の宿泊療養施設を開設	23日	「看護管理者メンタルヘルス研修会」開催

月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
12月	1日	ワクチン追加接種(3回目)が開始	1日	「感染管理認定看護師スキルアップ研修会」開催
	17日	◆オミクロン株濃厚接触者対応Web会議開催	20日	日本看護協会から「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材確保事業」を受託
1月	4日	◆岩国市を中心にオミクロン株感染者急増に伴い知事メッセージ発出	10日	本協会で、自宅療養者の健康観察を開始
	5日	◆オミクロン株感染者急増に伴い「新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関Web会議」開催	14日	本協会非常勤職員(看護職)による保健所保健師業務の応援を開始
	9日	沖縄・広島・山口の3県に「まん延防止等重点措置」が適用開始 ◆山口県岩国市・和木町に「まん延防止等重点措置」が適用開始		
	21日	新たに13都県に「まん延防止等重点措置」が適用開始		
	27日	新たに16道府県に「まん延防止等重点措置」が適用開始 沖縄県・広島県・山口県の適用期間が2月20日まで延長		
		◆山口県の「まん延防止等重点措置」の対象地域が全市町に拡大 新規感染者数が第6波最大の445人		
2月	5日	和歌山県に「まん延防止等重点措置」が適用開始	22日	第14回対策本部会議：会議・研修会等の開催について検討
	10日	高知県に「まん延防止等重点措置」が適用開始		
	20日	31都道府県の「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長 ◆山口県の「まん延防止等重点措置」が解除		
3月	1日	子ども(5～11歳)へのワクチン接種開始		
	7日	13都道府県の「まん延防止等重点措置」が3月21日まで延長		
	21日	まん延防止等重点措置が全国で解除		

重点方針

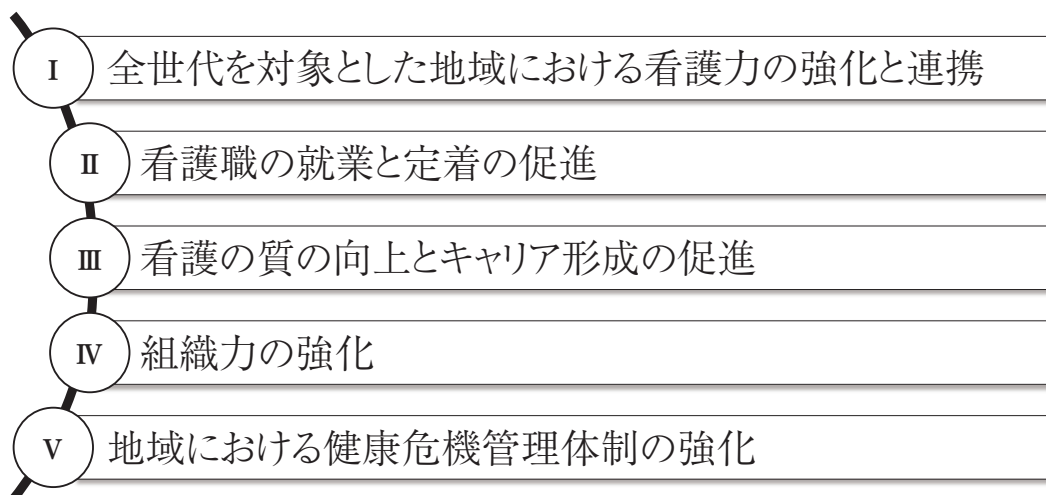
少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、特に医療制度改革は、2年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大・蔓延により大きな影響を受けている。

地域医療構想に基づく地域の医療提供体制の再構築等、地域を支える医療の大枠の議論が遅滞を余儀なくされている一方で、コロナ禍の状況に迅速に対応しようとオンライン診療の活用など、当初計画以上に推進されたものもある。また、コロナ禍での経験は、医療・看護の場において従前から潜在化していた様々な課題・問題を表層化させ、地域の公衆衛生の重要性と保健所の体制強化に向けた課題も明らかとなった。

地域の医療提供体制の構築にあたっては、顕在化した課題を緊急事態下におけるものと捨て置かず、平時からその体制を強固なものにすべく、改善に取り組むことが重要であり、特に危機的状況下でのマネジメントや感染管理・人員配置など看護の立場から、安心・安全な看護提供体制の確保に向けた迅速な取り組みが求められている。

かねてより、看護は疾病予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮し取り組んできたが、コロナ禍において、自分の健康は自分で守るという健康維持や受療行動に関する意識の変化を人々にもたらし、健康にかかわる新たなニーズに対し、看護がその役割を発揮していくための取り組みがますます重要になると考える。

これらを踏まえ、令和4年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- 
- I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
 - II 看護職の就業と定着の促進
 - III 看護の質の向上とキャリア形成の促進
 - IV 組織力の強化
 - V 地域における健康危機管理体制の強化

令和4年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

昨年度から地域包括ケアシステムを推進するため「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」重点方針とし、子ども・子育て世代、障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした取り組みを進めている。重点事業として、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取り組みを支部事業として展開している。今後も、地域の特性を活かしながら発展させていく。

また、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会において、地域を見据えた専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、抽出した課題解決に向けた取り組みを行う。さらに、母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みについて助産師職能委員会を中心にを行う。

【重点事業】

I-1 地域連携における看護の機能強化事業

- ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 県委託を含む

ポイント 支部事業として実施

- ・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み（在宅ケア推進委員会）

ポイント 看護職間及び多職種間の連携の現状を踏まえて、具体的な取り組みを検討し展開

I-2 看護業務の質の向上に関する事業

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

ポイント 4職能委員会において専門領域での地域における連携について検討

職能間での専門領域における連携上の課題解決に向けての取り組み（研修会・交流会等）

- ・母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み

ポイント 助産師職能委員会を中心に、保健師職能等と連携して進める

【他事業】

- ・訪問看護師育成支援事業 県委託

重点方針Ⅱ 看護職の就業と定着の促進

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者は25,285人（令和2年12月末）で、2年前に比べ180人増加しているが、地域や就業場所による偏在があり、中小規模病院や在宅医療・介護領域での看護師確保が課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に伴い、看護職の人員不足に拍車がかかった。そのため本協会では、潜在看護師の把握に努め就業につなげてきたが、今後も、把握できた潜在看護職へのきめ細かい復職支援を行う。さらなる届出制度への登録とe-ナースセンターの活用を推進するため、就業中の看護職を対象に看護管理者及び看護職自身への周知活動を強化する。

また、今後退職を迎えるセカンドキャリア世代の活用を図るため、キャリア支援の研修会の開催や『セカンドキャリア人材活用バンク』を設置し、本協会事業及び市町等の地域活動に必要な看護人材のニーズとのマッチングを行い、看護職としての知識や経験を活かした活動の場の拡大を図る。現役世代に対しては、看護の現場で働いている看護職が辞めない、できるだけ健康で長く働き続けることが出来る職場環境

づくりを推進して行くために、看護管理者や事務長を対象とした研修会やヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）研修会を実施する。

コロナ禍において、保健師の確保対策が進められているが、引き続き日本看護協会と連携し保健師人材確保の取り組みを行う。

【重点事業】

Ⅱ-1 ナースセンター事業 県委託

- ・ 無料職業紹介
- ・ 離職者・未就業者届出サポート
- ・ 再チャレンジ研修

ポイント 看護管理者や看護職に対して届出制度の周知活動、病院等との連携強化
潜在看護職へのきめ細かい復職支援

Ⅱ-2 働き続けられる職場づくり推進事業

- ・ (拡充) 働き続けられる職場づくりの啓発・支援

ポイント 看護管理者・事務長を対象とした研修会（自己診断チェックの推進、労働安全衛生ガイドラインの普及等）の開催
「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）研修会」の開催
セカンドキャリア世代の働き方支援として「セカンドキャリア人材活用バンク」の設置

【他事業】

- ・ プレナース発掘事業 県委託

重点方針Ⅲ 看護の質の向上とキャリア形成の促進

【事業概要】

医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しており、看護職にはあらゆる場での専門職としての役割発揮が期待されている。今後も看護職が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、ニーズに応えられる体制を強化し、より効率的な看護提供を行うことが求められる。

看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、認定看護師等の質の向上を図るとともに、活躍の場を広げ地域活動へも貢献できるように事業を展開していく。

また、看護職個々が本協会の研修等を活用し、継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。

【重点事業】

Ⅲ-1 看護業務の質の向上に関する事業

- ・ (新規) 認定看護師等スキルアップ事業

ポイント 新規 県内における認定看護師の活動の実態や地域活動を行う上での課題等実態調査把握
新規 分野別の認定看護師の交流会の開催
新規 認定看護師の登録制度システムの整備
新規 専門領域の資格取得者（専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者）の意見交換会

【他事業】

- ・ 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の導入支援

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能委員会活動
- ・看護制度委員会活動
- ・一般教育研修
- ・認定看護管理者教育（ファーストレベル・セカンドレベル）
- ・新人看護職員研修事業 県委託
- ・助産実践能力向上事業 県委託
- ・実習指導強化推進事業 県委託
- ・助産師出向支援導入事業 県委託
- ・インターネット配信研修
- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
- ・医療安全推進事業
- ・第22回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

本協会においては、看護が担うべき役割を支援する事業の取り組みや迅速な情報発信等を行う上での人材や資金といった組織力の強化が必要である。

入会促進に向けた対策として、常務理事会で、本協会ホームページのリニューアルによるPR力の強化や会員の利便性を図る等の対策、またオンライン会議・研修等を進めるためのICT環境の整備や活用方法について調査・検討を行った。この検討結果を踏まえて、今後ホームページのリニューアルや、ICT環境の整備を促進していく。

さらに、新卒者の入会促進、再入会への呼びかけ、未入会施設等への働きかけも強化していく。

また、新型コロナウイルス感染症への対応も考慮しつつ、看護職の「新たな日常」の実現を目指した効率的な事業展開をし、県協会の経営基盤の安定化のために財務の健全運営への取組を継続する。

【重点事業】

Ⅳ-1（拡充） 広報活動事業

- ・山口県看護協会ホームページのリニューアル

ポイント ホームページから提供される機能等を改善し会員にとって有用性の向上を図る

- ・入会促進に向けた活動

ポイント 看護師等学校養成所への訪問による入会案内、再入会への呼びかけや未入会施設への入会促進強化

Ⅳ-2 組織運営に関する事業

- ・本協会のICT環境の整備を促進し、会員にとって有益で利便性が図れるようにする。
- ・看護政策推進のための組織強化事業

ポイント 看護管理者の会議等によるネットワークづくりを推進

【他事業】

- ・支部活動の充実
- ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業

- ・他団体との連携

重点方針V 地域における健康危機管理体制の強化

【事業概要】

看護職は、コロナ禍の最前線でリスクと対峙しながらも、専門性を発揮しその役割を果たしてきた。今後も、新たな新興感染症や大規模災害等の発生が予測される中、更なる健康危機管理体制の整備と強化が望まれる。

本協会では、これまで災害時に備えた災害支援ナースの人材養成や研修を実施している。また、この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大においては、病院間での看護師応援派遣の必要性が生じたことから、県より委託を受け、「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を行っている。今後、行政等関係機関との連携のもと、いざというときに即応可能な人材確保やその人材が適材適所で有効な役割を果たせるような体制を整えていく必要がある。

V-1 大規模災害発生時の対応体制の強化

- ・災害支援ナース育成研修の充実と災害支援ナース登録者へのフォローアップ体制の拡大
- ・日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練、山口県総合防災訓練等への参加
- ・災害時の受援要綱の作成

V-2 新興感染症等の感染拡大への対応体制の整備

- ・県行政等関係機関との健康危機管理体制強化のための協議
- ・新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 県委託
 - ポイント** 軽症者宿泊療養施設の看護職員の確保・総合調整に係る業務
看護職員の不足状況等の調査
派遣可能な看護職員のマッチング
新型コロナウイルス感染症に関する研修の実施
潜在看護師ワクチン接種業務等
- ・看護職員メンタルサポート事業 県委託
 - ポイント** 公認心理師等による医療機関への出前講座、看護職員への個別相談
- ・（新規）在宅感染管理研修事業 県委託
 - ポイント** 訪問看護事業所職員等向けの研修会の実施
在宅療養支援者向けと療養者向けの啓発リーフレットの作成
- ・（新規）新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材確保事業 日本看護協会委託
 - ポイント** 広域人材調整：国の要請を受け、都道府県間で広域に緊急的な看護職員の派遣調整を行う
新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職のスキルアップ研修の実施
新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談窓口の設置

重点方針とは別に取り組む事業

1 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

看護師国家試験の合格者は約5.5万人/年であり、これを維持していくためには、2030年には、18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。小・中・高校生や教員、保護者を対象に、進路選

択で看護学校・大学への進学を選択してもらうために、県内看護学校の情報提供やふれあい看護体験や出前講座などにより看護職に触れ合う機会を提供する。まちの保健室等住民を対象とした活動については、コロナ禍での実施となるので、関係施設の意向を踏まえ感染対策等に配慮したうえでの実施方法を工夫する。

【事業】

- ・「看護の日」及び「看護の心」PR事業
- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・健康相談・啓発等の事業

ポイント 「まちの保健室」活動での企業との連携による開催、「健康やまぐち21計画」事業への協賛

- ・「国際助産師の日」活動
- ・がん総合相談窓口の運営 県委託
- ・訪問看護ステーションの運営

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項 (1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 29コマ30日程度
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 19日間 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(セカンドレベル・サードレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 4日程度 ③教育担当者研修 6日程度 ④実地指導者研修 5日程度
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 ②助産実践能力向上研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②実習指導者養成講習会 36日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 3日程度 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応能力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 4回 ②災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基本的知識～ 1回
(8)その他研修	①重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 1回 ②看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 1回 ③JNAラダーを活用したインターネット配信研修 1回
(9)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回程度
(10)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会教育担当者会議
2)医療安全推進事業 (1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修45時間7日間 医療安全管理者養成研修フォローアップ0.5日 ②医療安全管理者スキルアップ研修
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発

事業項目	主な事業内容
	医療安全情報さらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及 活用促進
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
(5)委員会	①医療安全推進委員会 7回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全推進会議 1回 ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修会への参加 1回
3)学会等学術集会に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	①第22回山口県看護研究学会 3月
(2)委員会	①学会委員会 5回
(3)日本看護協会との連携	①日本看護学会運営会議 1回
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催 1回
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・無料職業紹介 ・求職者の登録

事業項目	主な事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・求人情報の提供 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業連絡調整会議 2回 ③その他 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①再就業支援研修(地域施設研修) <ul style="list-style-type: none"> ・研修協力施設 22施設 ・募集期間 令和4年4月～令和5年3月上旬 ・研修 随時実施 ・研修期間 3日～5日程度 ②集合研修 2回 ③調整会議 1回 ④広報
(4)再就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①ハローワークでの出張相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・岩国、徳山、山口、防府、宇部、萩、下関のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③再就業にあたり必要な専門相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士 月1回 ④調整会議 3回 ⑤広報
(5)就業支援サポーターの配置 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①サテライトでの相談、就業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・岩国・柳井地区、周南地区、山口地区、宇部地区、萩・長門地区、下関地区で実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②サテライトからの出張相談 <ul style="list-style-type: none"> ・求人施設からの相談対応 ・学校における進路説明・進学相談対応 ・看護学校訪問 ③調整会議 3回 ④広報
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①器材の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種 ②個人の技術演習 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 技術演習の希望者 ・演習日 2回/月(第1金曜日、第4火曜日)

事業項目	主な事業内容
(8)離職者・未就業者届出サポート(山口県委託)	<p>・演習項目 採血・注射・吸引など</p> <p>③広報</p> <p>①届出について病院との連携体制の整備・強化</p> <p>②届出制度の広報・広告</p> <p>③相談対応、登録サポート</p> <p>④届出者への情報提供</p>
(9)看護職員再就業支援相談会(山口県委託)	<p>①相談会の開催 県内4会場</p> <p>・対象者 再就業を希望する者</p> <p>・参加施設 中小規模の医療機関や訪問看護ステーション等</p> <p>②相談会のあり方検討会 2回</p>
(10)会議等への出席	<p>①職業紹介責任者講習(全国民紹協)</p> <p>②山口県看護職員確保対策協議会(県)</p>
(11)日本看護協会との連携	<p>①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター)</p> <p>②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター)</p> <p>③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック</p>
2)プレナース発掘事業	
(1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託)	<p>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布</p>
(2)1日ナース体験(山口県委託)	<p>対象：中学生、高校生</p> <p>期間：夏休み期間</p> <p>施設：参加協力施設</p>
(3)看護の魅力発見(山口県委託)	<p>①看護の魅力発見の開催</p> <p>対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人</p> <p>実施地域：3か所程度</p> <p>内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談</p> <p>②事業検討委員会 2回</p>
(4)看護職員の学校訪問(山口県委託)	<p>①学校訪問の実施 学校と調整し訪問</p> <p>対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等</p> <p>内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発</p> <p>・次世代ナース確保の重要性に関する講話</p> <p>・職業講話</p>
(5)日本看護協会との連携	<p>①若年層への情報発信の強化</p>
3)働き続けられる職場づくり推進事業	
(1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援	<p>①労働環境支援委員会 4回</p> <p>②看護職員就労定着支援事業</p> <p>・ヘルシーワークプレイス研修会① 対象：看護管理者・事務長</p> <p>・ヘルシーワークプレイス研修会② 対象：中間管理職</p>

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	・セカンドキャリア支援研修会 ・「セカンドキャリア人材バンク」の設置 看護労働担当者会議
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 (山口県委託)	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣
4)新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 (山口県委託)	①宿泊療養施設等のマネジメント専門員の配置 ②看護職員の不足状況等の調査 ③派遣可能な看護職員のマッチング ④新型コロナウイルス感染症に関する研修の実施 ⑤潜在看護師ワクチン接種業務等
5)新型コロナウイルス感染症対応事業 (1)看護職員メンタルサポート事業(山口県委託)	就業看護職員の精神的な疲労による離職を未然に防ぐための対策 ①看護職員に対するメンタルサポーター（公認心理師等）による相談の実施 ②管理者等に対するメンタルヘルスに関する研修会の開催
(2)新型コロナウイルスワクチン接種に従事する潜在看護師確保事業	①潜在看護師の積極的な掘り起こし ②潜在看護師の不安解消のための実技セミナー ③潜在看護師と集団接種会場とのマッチング
(3)新新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材調整事業 広域人材調整事業 (日看協委託)	①応援派遣元の県協会としての派遣調整 ・人材調整に必要なニーズの把握 ・応援派遣者の所属機関(医療機関)への派遣調整 ・潜在看護師等の臨時的な雇用による派遣調整 ②派遣要請県の看護協会としての派遣調整 ・応援派遣元の県協会との派遣調整 ・応援派遣先との総合的な派遣調整
(4)新新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業 (日看協委託)	①新型コロナウイルス感染症に対する看護職への研修支援 ・潜在看護職へのスキルアップ研修会の実施
(5)新新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業 (日看協委託)	①新型コロナウイルス感染症の影響による看護職員の離職防止策への支援 ・看護職員の新型コロナにおける離職防止のための相談窓口の設置 ・相談窓口のPR(チラシ作成・ホームページ作成)

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業 (1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 10回

事業項目	主な事業内容
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別保健師職能委員長会 1回 ①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部連携として合同会議の開催 ④ひたむきな保健師取材、会報きらめき掲載 3回 ⑤ホームページ、会報・チラシによる情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画 ③日本看護協会実施の研修会受講
ウ 活動の啓発および会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②保健師活動啓発リーフレットの改訂、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 7回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 1回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②中堅助産師研修の企画・運営・評価 ③管理者交流会の企画・運営・評価 ④CLoCMipレベルⅢの導入・活用推進
ウ 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用	①ガイドラインを活用した院内助産システムの推進
エ 災害時の対応	
オ 広報活動	①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等へ記事投稿
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 ②支部看護師職能委員 I との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会 II との合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動

事業項目	主な事業内容
イ 地域包括ケアシステムの推進に向けた、地域における看護力の連携と強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ラダー活用のアンケート調査を実施、現状分析、導入支援の検討 ・JNAクリニカルラダー活用に関する研修会の企画と評価(年1回) ①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ①全国看護師職能Ⅰ委員長会議 1回 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師職能委員会Ⅱ 9回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 1回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内15施設で開催(7月～10月)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師職能Ⅱ交流会開催(1回)
ウ 4職能委員会の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ①地域包括ケアシステム構築に向けた連携推進 4職能それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題を抽出し、情報共有を図る ②看護師職能委員会Ⅰとの連携
エ 支部看護師職能委員Ⅱとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅰ委員会の課題等について意見集約
オ 広報活動・会員増加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	<ul style="list-style-type: none"> ①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会 1回
(6)看護制度委員会	<ul style="list-style-type: none"> ①看護制度委員会 7回
ア 〇看護制度の課題解決への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ①看護教育について看護職・看護教員との情報を共有し課題解決に取り組む ・課題を抽出し課題解決に向けた意見交換会1回

事業項目	主な事業内容
イ 日本看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎教育4年制化推進の意義や必要性に関する認知度調査を実施し、課題を明確化する。 ②准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けての支援 <ul style="list-style-type: none"> ・准看護師スキルアップ研修会の開催 1回 ・看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供 ③看護専門領域の資格取得者との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師の地域における活動の実態調査 ・意見交換会 1回
ウ 広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業 (山口県委託)	<ul style="list-style-type: none"> ①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業研修会の開催

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践事業を含む)	<p>支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ①検討会の開催 2回 ②看護管理者会議 1回 ③研修会・交流会等の開催 1回
(2)在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会 7回 訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催1回程度を含む
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ①現状調査結果をふまえた、取り組みの方向性を明確にするための検討 <ul style="list-style-type: none"> ・職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業等と連携した現状調査の作成、実施 ・現状調査結果の集計、職能委員会等との情報交換をふまえた山口県の現状分析により、具体的な課題の抽出、検討 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催 3回程度
イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ①訪問看護育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催 1回 ②山口県訪問看護推進協議会へ、委員およびオブザーバーとしての出席 1回 ③情報提供、意見交換を目的とした三職能四委員会、在宅療養支援のための

事業項目	主な事業内容
<p>(3)訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)</p> <p>ア 訪問看護活動の充実、推進</p> <p>イ 訪問看護師の看護実践能力の向上</p> <p>ウ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み</p> <p>エ 新在宅感染管理研修事業 (山口県委託)</p> <p>(4)日本看護協会及び関係団体との連携</p> <p>2)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営</p>	<p>看護職連携推進研修検討会の委員長との会議の開催 2回程度</p> <p>①訪問看護推進協議会 1回 ②訪問看護師育成支援事業検討会</p> <p>①訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) 5月～12月の間 180時間 30日程度(見学実習3日程度を含む) ②中堅者から管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ③訪問看護基礎研修、訪問看護入門研修等、訪問看護の未経験者、初任者に対するの事業、研修等の企画・実施・評価 ④訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動</p> <p>①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供 ②訪問看護実践研修への参画、提言</p> <p>①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職に向けた研修の実施 ②在宅療養者等向け感染管理啓発リーフレットの作成</p> <p>①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回</p> <p>①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回</p> <p>②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2021への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底)</p> <p>③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参</p>

事業項目	主な事業内容
<p>3)健康相談・啓発等の事業</p> <p>(1)「まちの保健室」活動の実施</p> <p>(2)「国際助産師の日」活動支援</p> <p>(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)</p> <p>4)災害時の看護支援活動に関する事業</p> <p>(1)災害支援活動体制の整備、充実</p> <p>(2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援</p> <p>(3)平常時の防災活動の推進</p> <p>(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働</p> <p>(5)委員会</p> <p>5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業</p>	<p>加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 <p>④広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布 <p>①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回</p> <p>②普及啓発グッズの配布</p> <p>③関係機関との連携推進</p> <p>④「まちの保健室」企業と連携</p> <p>⑤健康フェアへの出展</p> <p>①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)</p> <p>①相談窓口の設置 月曜日～金曜日</p> <p>②看護職者による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援</p> <p>③がん相談支援スキルアップ研修会参加</p> <p>④相談窓口の積極的な利用の促進</p> <p>①災害支援体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害支援要綱、災害派遣手順の改定 ・災害時の受援要項の作成 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備 <p>②調査による活動を想定した災害支援ナースの現状把握</p> <p>③「災害支援ナース育成研修企画・指導者研修」等の参加による指導者の育成</p> <p>①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) JNA収録DVD研修 1回</p> <p>②災害支援ナースフォローアップ研修 2回</p> <p>③災害支援ナースの新規登録・登録更新</p> <p>④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動</p> <p>①山口県総合防災訓練等へのWeb参加</p> <p>②災害支援物品の整備</p> <p>①都道府県看護協会災害看護担当者会議</p> <p>②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携</p> <p>①災害支援委員会 10回</p>

事業項目	主な事業内容
(1)看護の日・看護週間行事開催	①2022年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②10支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 ③ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布
(2)看護のPR	①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ③みらいWalker★UBE出展 ④職場体験 ⑤進路相談

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	<p>※法人事業</p> <p>①通常総会 6.8 ②理事会 6回程度 ③法人会員会 5回程度 ④代議員研修会 5.14 ⑤都道府県看護協会事務担当者会議 未定 ⑥都道府県看護協会政策責任者会議 9.24 ⑦会員情報管理情報交換会 9.7 ⑧全国准看護師理事会議 未定 ⑨都道府県看護協会広報担当役員会議 11.10</p> <p>※公益事業</p> <p>⑩全国職能別交流集会 6.9 ⑪全国職能委員長会 9.9 ⑫地区別職能委員長会 10.20・21 ⑬訪問看護連絡協議会合同会議 未定 ⑭ナースセンター事業担当者会議 5.20 ⑮全国看護基礎教育担当役員会議 9月開催予定 ⑯都道府県看護協会災害看護担当者会議 9月開催予定 ⑰都道府県看護協会看護労働担当者会議 5.19 ⑱都道府県看護協会医療安全担当役員会議 未定</p>
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④ 傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤ 会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥ レジャー施設入場支援 ⑦ レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
1) 看護職への支援事業 (1) 相談支援センター活動推進	① 相談支援センターの運営
2) 支部活動事業 (1) 支部活動の推進	① 支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ② 支部運営会議による協議
3) 組織運営に関する事業 (1) 適正な財産運営	① 健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営
(2) 各種事業運営	① 通常総会(※法人) 6.18 ② 理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③ その他事業(各種会議)(※法人) ・ 支部運営会議 3回程度 ・ 推薦委員会(※法人) 5回程度 ・ 県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回程度 ・ 選挙管理委員会 1回程度 ・ 他、各種会議(※法人)
(3) 看護政策推進のための組織強化事業	① 地域の政策力強化(※法人) ・ 認定看護管理者会への参加 ・ 看護職員就業施設訪問 ・ 看護管理者会議によるネットワーク強化 ② 看護協会入会促進 ・ 入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・ 看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等

事業項目	主な事業内容
4) 広報活動事業 (1) 広報活動 (2) 各種情報提供 5) 他団体との連携 (1) 看護教育機関との連携 (2) 看護関連政策の推進 (3) 他団体との共催行事	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学校卒業生への啓発活動 ① 会報「きらめき」発布(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ② ホームページの更新、活用(※公益/収益等) <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアル ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ① 会員増加の推進(※収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ② タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) <ul style="list-style-type: none"> ・通送便 1回/月 ・印刷物等配布 ① 入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ② 見学・実習の受け入れ(※公益) ③ 卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人) ① 要望・事業提案(※法人) <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 ① 医療関係団体新年互例会(※法人) ② 研修会等の後援 ③ 研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和4年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 医療・看護・介護従事者との連携・ツールの課題を検討し改善する
支部集会	日 時：7月9日 会 場： 未定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修：支部研修会 1回 2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会 1回 3)支部合同看護マネジメント研究会(開催地 柳井市) 1回 日時：令和5年2月4日(土) 時間未定 会場：柳井医療センター
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し 支部会員に研修参加を働きかける
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催 まちの保健室で実施、各施設で実施 2)「いいお産の日」啓発事業 1回 10月まちの保健室で実施 3)まちの保健室開催 5回予定 (第3日曜日) 進路相談 まちの保健室開催時に実施 4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会 2回 研修会 1回 5)地域包括ケア・認知症予防の啓発事業 岩国市地域包括ケア推進大会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 表彰者へのお祝い 2)看護職交流会 1回(12月)
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) (2)看護学校入学、卒業式祝電 2)支部集会 1回 3)支部役員会 6回 開催 4)支部委員会 (1)職能委員会6回 (2)教育委員会6回 (3)推薦委員会2回 開催 (4)選挙管理委員会1回 開催 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R4.3.31)	515人(保健師58人 助産師12人 看護師423人 准看護師22人)

柳井支部事業計画

活動目標	1)地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2)支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。 3)「まちの保健室」の活動を通して地域住民の健康福祉に寄与する。
支部集会	日時：7月2日 予定 会場：国立病院機構 柳井医療センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①支部研修 1回 令和4年7月2日(土) 予定 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 ①3支部合同研修 令和5年2月4日(土) 予定
2 看護職の労働環境等の 改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓蒙等の事業 (1)まちの保健室 ①開催 令和4年6・8・10・12 令和5年2・4月の第3土曜日を予定 (2)国際助産師の日事業 ①イベント 1回 予定 (3)進路相談 ①各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会 2回予定 (2)研修会は訪問看護見学実習を実施予定
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 (1)県協会への協力 2)その他の事業 (1)支部集会前研修
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 (2)看護学校4校 入学式・卒業式祝電 2)支部役員会 6回 開催予定 3)支部委員会 (1)職能委員会 6回 開催予定 (2)教育委員会 6回 開催予定 (3)推薦委員会 6回 開催予定 (4)選挙管理委員会 6回 開催予定 4)広報活動 (1)県協会広報「きらめき」への投稿 (2)県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R4.3.31)	571人(保健師42人 助産師18人 看護師478人 准看護師33人)

周南支部事業計画

活動目標	1)会員の看護の質向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、地域や他職種との連携を深める
支部集会	日時：7月23日(予定) 会場：新南陽ふれあいセンター 大会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育委員会担当研修 1回 ②職能委員会研修 1回 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会(開催担当：柳井支部) 日時：令和5年2月5日(日)13：00～17：00 会場：柳井医療センター
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修会参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間事業の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓蒙活動の事業 (1)まちの保健室 ① 6回 (2)国際助産師の日の事業 ①イベント「いいお産の日」 1回 (3)進路相談 ①各施設で実施 (4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会 2回 研修会 1回 (5)その他①地域行事での救護協力 ①「リレーフォーライフジャパン2022やまぐち」に参加
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福祉厚生等に関する事業 (1)表彰候補の推薦 ①山口県優良看護職員知事表彰の推薦 (2)その他の事業①看護管理者交流会(管理者) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部集会 1回 2)支部役員会 6回 3)支部委員会 開催 (1)職能委員会6回 (2)教育委員会5回 (3)推薦委員会2回 (4)選挙管理委員会1回 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿
支部会員数(R4.3.31)	1,807人(保健師50人 助産師64人 看護師1,633人 准看護師60人)

防府支部事業計画

活動目標	地域包括ケアをすすめる看護職の連携強化
支部集会	日時：7月15日 会場：山口県看護研修会館
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)教育委員会 看護研究発表会 研修年4回 2年間計画(令和5年度完成) 2)職能委員会 在宅療養支援のための看護職連携推進の強化と合同研修
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 1回 ①イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 ②各施設で実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 ①常設まちの保健室・イベント型まちの保健室 8回 (2)進路相談・看護職の就労支援 ①各施設及びまちの保健室で実施 (3)国際助産師の日事業 ①国際助産師の日イベント 1回 (4)保健師交流 ①研修会 1回 ①保健師情報交換会 1回 (5)その他の事業 ①地域行事での救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進の強化 ①検討会 2回 ②研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員の福利厚生等に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 (2)その他の事業 ①親睦会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 7回 開催 2)支部委員会 (1)職能委員会 3回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)協会ホームページへ投稿
支部会員数(R4.3.31)	782人(保健師37人 助産師45人 看護師688人 准看護師12人)

山口支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護力の向上と連携強化を図る 2)地域活動により地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日 時：7月23日 会 場：山口県労働者福祉文化中央会館(予定)
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回 (2)看護研究指導 1施設
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力 (2)看護職の人材確保・就業支援 ①看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 アピール動画の作成(中高生対象)・ポスター作成
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事開催 各施設で実施 2)「まちの保健室」開催 8回 3)国際助産師の日事業いいお産の日イベント 1回 4)進路相談実施 各施設・まちの保健室 5)地域連携推進委員会企画研修会 1回 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 3回 研修会1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 6回 ②看護学校関連事業参加 2)組織運営に関する事業 (1)支部役員会 5回 (2)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 4回 ④地域連携推進委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 1回 3)広報活動事業 (1)県協会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R4.3.31)	1,427人(保健師100人 助産師44人 看護師1,242人 准看護師41人)

宇部支部事業計画

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
支部集会	日時：7月16日 または23日 会場：山口大学医学部附属病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修 2回 ①7月：認知症看護について(仮) (職能合同) ②10月頃予定
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室：毎月第3土曜日に開催(7月除く) 助産活動2ヶ月に1回、いいお産の日活動：11月 (2)くすのきカンントリーマラソン大会への救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進強化(小野田支部と合同) (1)検討会開催 (2)研修会開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収 益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)職能合同研修会 1回 ①7月：認知症看護について(仮)(教育合同)
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 6回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 3)その他 (1)看護学校入学、戴帽式、卒業式への参加 (2)地域会議への出席 ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議 2回 ②宇部市防災会議 1回 (3)市からの依頼 ①宇部市多職種連携研修会の受講者推薦 ②宇部市障害者自立支援審査会委員の推薦 ③宇部市介護認定調査会委員選任 など (4)広報活動 ①県協会「きらめき」へ投稿 ②県ホームページへ投稿
支部会員数(R4.3.31)	2,064人(保健師47人 助産師48人 看護師1,841人 准看護師128人)

小野田支部事業計画

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
支部集会	日時：7月23日 会場：※未定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」行事開催 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 3)「まちの保健室」開催：年6回 4)山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」への参加 5)看護体験実施：各施設で実施 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会開催 (2)研修会開催
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業(収益等 事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)支部会員交流会の開催 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部役員会 5回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 4)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R4.3.31)	616人(保健師35人 助産師30人 看護師541人 准看護師10人)

長門支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 2) 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日時：7月21日 予定 会場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 予定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 (2) WEB研修 3回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 支部看護研究指導 (2) 看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 研修会 1回 2) 看護管理者会議 (1) 医療安全担当者会議：年1回 (2) 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議：年1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2) まちの保健室 3) 国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4) 進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回、研修会3回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1) 表彰候補者の推薦 2) 地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学式・戴帽式・卒業式臨席 2) 支部集会 3) 支部役員会： 2回開催 4) 支部委員会 (1) 職能委員会 (2) 教育委員会 (3) 推薦委員会 (4) 選挙管理委員会 5) 広報活動 (1) 県協会「きらめき」の投稿 (2) 支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行
支部会員数(R4.3.31)	241人(保健師15人 助産師13人 看護師192人 准看護師21人)

萩支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化と課題解決に取り組む 2)地域活動を通して地域住民の健康向上に貢献する
支部集会	日時：未定 会場：萩市地域医療支援センター 研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部研修会1回 (2)三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)健康会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増進 に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 (1)各施設で日程設定し実施 2)まちの保健室開催 10回 3)国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会2回 (2)研修会1回 5)進路相談 (1)各施設で実施 (2)まちの保健室での実施 (3)中学生への職業講話 6)その他の事業 (1)地域行事での救護協力
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 (1)交流・親睦会 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 8回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 5回 (3)推薦委員会 3回 (4)選挙管理委員会 2回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R4.3.31)	412人(保健師27人 助産師5人 看護師287人 准看護師93人)

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する。 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う。
支部集会	日時：7月15日 予定 会場：未定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催) 2回開催予定、非会員も含む (1)高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～ (2)検討中
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進による 人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談 (2)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う。
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業(下関地区・豊浦地区) (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年9回 (2)地域行事での救護協力(海峡マラソン・歴史ウォーク) 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(県委託事業)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) 2回開催 (2)会員交流会 1回開催
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)支部役員会 7回 開催 (2)支部委員会 ①職能委員会4回 ②教育委員会4回 ③まちの保健室委員会2回、 ④推薦委員会2回、⑤選挙管理委員会1回 開催 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 (医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2)広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿 ②県協会ホームページへの投稿 (3)訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職 特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける。
支部会員数(R.4.3.31)	1,725人(保健師53人 助産師47人 看護師1,581人 准看護師44人)

令和4年度 職能委員会活動計画

I 保健師職能委員会

1 活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化およびネットワークの推進 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3) 活動の啓発および会員増加の推進
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会10回 2) 支部職能委員長合同会議2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 保健師の連携強化およびネットワークの推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会の開催 (2) 保健師職能交流会の開催 (3) 職能委員会の開催 (4) 支部連携としての合同会議の開催 (5) ホームページ、会報による情報発信 2) 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 研修会・交流会の実施 (2) 教育研修計画への参画 (3) 日本看護協会実施の研修会受講 3) 会員増加の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 保健師職能集会や交流会の開催 (2) 保健師活動啓発のリーフレット『保健師ってどんなひと?』の改訂 会員勧誘チラシ改訂版の活用 (3) ホームページ、会報による情報発信

II 助産師職能委員会

1 活動目標	<p>母子のための地域包括ケアシステム構築に向けて、下記活動を通じてネットワークを強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動 6) 4職能委員との連携強化
2 委員会開催	<ul style="list-style-type: none"> 1) 職能委員会 7回 2) 支部職能委員長合同会議 2回
3 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2) 助産実践能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新人助産師研修の企画・運営・評価 (2) 中堅助産師研修の企画・運営・評価 (3) 管理者交流会の企画・運営・評価

	<p>(4)CLOCMiP®の導入・活用の推進</p> <p>3)院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した院内助産システムの推進</p> <p>4)災害時の対応</p> <p>5)広報活動</p> <p>(1)イベントでの助産師の普及活動</p> <p>①看護の日・国際助産師の日</p> <p>②いいお産の日</p> <p>(2)ホームページ等へ記事投稿</p> <p>6)4職能との連携強化 地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加</p>
--	--

Ⅲ 看護師職能委員会 I

1 活動目標	<p>1)看護実践能力の向上</p> <p>2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携</p> <p>3)支部看護師職能 I 委員との連携強化</p> <p>4)広報活動・会員増加の推進</p> <p>5)日本看護協会との連携</p>
2 委員会開催	<p>1)職能委員会9回</p> <p>2)支部看護師職能 I 委員との合同会議2回(10月、3月)</p> <p>3)看護師職能委員会 I・II 合同会議(随時)</p>
3 活動内容	<p>1)看護実践能力の向上</p> <p>(1)クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ・ラダー活用のアンケート調査を実施し、現状分析、導入支援を検討する ・JNAラダー活用に関する研修会の企画・評価(年1回)</p> <p>2)地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携</p> <p>(1)在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み</p> <p>(2)看護師職能委員会 II との連携強化 ・合同会議を随時行い、情報交換、情報共有</p> <p>3)支部看護師職能 I 委員との連携強化</p> <p>(1)支部及び看護師職能 I 委員との合同会議 2回(10月、3月)</p> <p>①支部活動の理解と把握及び情報共有</p> <p>②地区別看護師職能 I 委員長会の課題について意見集約</p> <p>4)広報活動・会員増加の推進</p> <p>(1)看護師職能集会(I・II 合同)1回</p> <p>(2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信</p> <p>5)日本看護協会との連携</p> <p>(1)全国看護師職能 I 委員長会議1回</p> <p>(2)地区別看護師職能 I 委員長会議1回</p>

IV 看護師職能委員会Ⅱ

<p>1 活動目標</p>	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)4職能委員会の連携推進 4)支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 5)広報活動・会員増加の推進</p>
<p>2 委員会開催</p>	<p>1)職能委員会9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回(10月、3月) 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議 (随時)</p>
<p>3 活動内容</p>	<p>1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 (1)介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 ・令和4年度、県内15施設程度の開催予定 (7月～10月) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会の開催 (年1回) 3)4職能委員会の連携推進 (1)地域包括ケアシステム構築に向けた連携推進 ・4職能それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題を抽出し、 情報共有を図る (2) 看護師職能委員会Ⅰとの連携 4)支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 (1)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回(10月、3月) ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②日本看護師職能Ⅱ委員会の課題等について意見集約 5)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 年1回 (2)会報「きらめき」、ホームページによる情報発信</p>

令和4年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	<p>1)働き続けられる職場づくりを推進する</p> <p>2)看護職の確保・定着等について検討する</p>
2 委員会開催	4回
3 活動内容	<p>1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の開催 目的：看護職が健康で安全に働きつづけられるために必要な考え方やその視点および体制づくりについて理解し体制づくりに繋げる</p> <p>(1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会① 対象：看護管理者・事務長 内容(半日：13：00～16：00)：講義(1.5時間)およびGW(情報共有1.5時間) 講義：医療現場における暴力・ハラスメント防止対策の組織づくり 講師(案)：三木先生 時期：9月頃(講師のスケジュールによる) 演習：各施設でのハラスメント防止に関する現状を知り自施設での対策を考える機会とする</p> <p>(2) ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会② 対象：中間管理職 内容(2日間)：講義(1.5日)およびGW(0.5日) 講義：いきいきと働きやすい職場づくりをめざすために中間管理職に必要な視点 講師(案)：奥村先生 時期：9月頃(講師のスケジュールによる) 演習：いきいきと明るい職場づくりを実践するために、中間管理職としての課題の抽出</p> <p>2)セカンドキャリア支援事業</p> <p>(1)セカンドキャリア支援研修会の開催 目的：定年を前にした人達に、定年後の働き方について情報提供を行うとともに、看護職としての広い視野でセカンドキャリアを考える機会となるよう活躍の場の情報提供を行う 対象：県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わず) 時期：12月頃 内容：セカンドキャリア世代の働き方を支援している施設の紹介と実際(各医療圏) 講師：療養型医療施設、訪問看護、老健施設、福祉施設等の施設管理者(5施設程度)</p> <p>(2)「セカンドキャリア人材バンク」の設置 目的：セカンドキャリア世代の看護職が、これまでの経験を活かし本協会が実施する諸事業や市町等の地域活動及び病院施設における諸事業の参画を支援する 方法：「セカンドキャリア人材登録」および「セカンドキャリア人材活用依頼施設登録」の運用開始</p>

2 看護制度委員会活動計画

1 活動目標	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題解決に取り組む。</p> <p>2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けて支援する。</p> <p>3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る。</p>
2 委員会開催	7回

3 活動内容	<p>1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題解決に取り組む。</p> <p>(1)令和3年度に実施した看護教員へのアンケート結果をもとに課題を抽出し、課題解決に向けた意見交換会を行う。</p> <p>(2)看護基礎教育4年制化推進の意義や必要性に関する認知度調査を実施し、課題を明確化する。</p> <p>2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けて支援する。</p> <p>(1)令和3年度の研修会アンケート結果をもとに、県内の認定看護師を講師に迎えて、准看護師スキルアップ研修会を開催する。</p> <p>(2)看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供をし、周知を図る。</p> <p>3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る。</p> <p>(1)認定看護師による活動(地域活動を含めた)における実態調査を行う。</p> <p>(2)3)-(1)の調査結果をもとに、各分野の認定看護師の連携・協働に向けた意見交換会を行う。</p>
--------	---

3 教育委員会活動計画

1 活動目標	<p>1)令和4年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。</p> <p>2)会員のニーズおよび令和4年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和5年度教育研修を企画・立案する。</p> <p>3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。</p>										
2 委員会開催	10回										
3 活動内容	<p>1)教育研修会の広報と実施</p> <p>(1)看護実践能力養成講習会 29コマ(30日)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">① 新人研修 1回</td> <td style="width: 50%;">⑥ 看護実践力(JNAラダー)</td> </tr> <tr> <td>② 看護研究 2回</td> <td>ア ニーズをとらえる力 3回</td> </tr> <tr> <td>③ 看護管理 4回</td> <td>イ ケアする力 7回</td> </tr> <tr> <td>④ 自己教育関連 3回</td> <td>ウ 協働する力 4回</td> </tr> <tr> <td>⑤ リクエスト枠 1回</td> <td>エ 意思決定を支える力 4回</td> </tr> </table> <p>2)研修の評価と次年度研修計画立案</p> <p>(1) 令和4年度の教育研修の運営・評価</p> <p>(2) 令和5年度の教育研修計画の企画・立案</p> <p>3)関係する委員会との連携</p> <p>常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を書面にて聴取し、各委員会、支部からの要望を考慮し立案する。</p>	① 新人研修 1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)	② 看護研究 2回	ア ニーズをとらえる力 3回	③ 看護管理 4回	イ ケアする力 7回	④ 自己教育関連 3回	ウ 協働する力 4回	⑤ リクエスト枠 1回	エ 意思決定を支える力 4回
① 新人研修 1回	⑥ 看護実践力(JNAラダー)										
② 看護研究 2回	ア ニーズをとらえる力 3回										
③ 看護管理 4回	イ ケアする力 7回										
④ 自己教育関連 3回	ウ 協働する力 4回										
⑤ リクエスト枠 1回	エ 意思決定を支える力 4回										

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興を図る。
2 委員会開催	5回程度
3 活動内容	<p>1)第22回山口県看護研究学会の開催</p> <p>2)第22回山口県看護研究学会に関する冊子の発行</p> <p>3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討</p>

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	1)カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R4.4.21～9.10 32日間 2)令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R4.4.19～5.13 募集定員：70人 3)令和4年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R4.10.22～12.17 19日間 4)令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R4.7.7 5)令和4年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R5.3 6)ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修過程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討

6 広報委員会

1 活動目標	1)会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる 2)非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためホームページの充実や、協会の増員につながる広報活動を推進する。 3)日本看護協会や、県内各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1)「きらめき」発行を年3回行う。 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号153号、154号、155号) (2)実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等 2)ホームページの充実 ブログの更新 3)県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集と発信

7 推薦委員会

1 活動目標	1)役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦 2)職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦 3)日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦
2 委員会開催	3回程度

3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 (1) 推薦委員会の任務について (2) 委員長選出 (3) 年間活動スケジュール (4) 各委員会の活動内容 2) 第2回推薦委員会 (1) 令和5年度役員選挙等日程について (2) 役員等の立候補、選挙権及び兼職について (3) 推薦委員の改選について (4) 職能委員及び常任委員の選任について 3) 第3回推薦委員会 役員等候補者名簿について
--------	--

8 医療安全推進委員会

1 活動目標	1) 医療安全管理者の養成 2) 医療安全管理者の資質向上の推進 3) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 4) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	7回(うち1回は圏域代表を招集して開催する)
3 活動内容	1) 医療安全管理者養成研修会(フォローアップ研修含む)の企画・運営・評価、実施方法の検討 2) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 3) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 (1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 (2) 現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 4) 県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(年3回) 5) 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 6) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動

9 災害支援委員会

1 活動目標	1) 災害支援活動体制の整備・充実 2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2 委員会開催	10回
3 活動内容	1) 委員会内容 (1) 災害支援ナース育成研修の内容の検討 (2) 災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 (3) 山口県総合防災訓練におけるWeb展示・広報の内容の検討と準備 2) 研修開催内容 (1) 災害支援ナース育成研修 基礎編 2日間(オンデマンド研修) (2) 災害支援ナース育成研修 実務編 2日間

	<p>(3)災害支援ナースフォローアップ研修 1日間 2回開催予定</p> <p>(4)意見交換会(災害派遣があった場合)</p> <p>3)その他</p> <p>(1)山口県総合防災訓練参加</p> <p>(2)関係機関、団体との協働、協力</p>
--	---

10 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み</p> <p>2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進</p>
2 委員会開催	7回(訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催1回を含む)
3 活動内容	<p>1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み</p> <p>(1)現状調査結果をふまえた、取り組みの方向性を明確にするための検討</p> <p>①職能委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業等と連携した現状調査の作成、実施。</p> <p>②現状調査結果の集計、職能委員会等との情報交換をふまえた山口県の現状分析により、具体的な課題の抽出、検討。</p> <p>(2)職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催(3回程度)</p> <p>2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進</p> <p>(1)訪問看護育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催(1回)</p> <p>(2)山口県訪問看護推進協議会へ委員およびオブザーバーとしての出席(1回)</p>

報告事項3 令和4年度 収支予算書

(別 冊)